

※今年の「繊月まつり」は、5月26日(日)に開催されます。たくさんのご来場をお待ちしております。

雑誌 81779-04-9



4910817790499 00500 流域の人々と歩む月刊誌

くまがわ春秋



平成最後のイベント



最近のおもな出来事

3月21日(木・春分の日)

▽相良三十三観音めぐり「春の一斉開帳」(球磨郡 吉市35札所) 人

3月22日 (金)

▽観光列車サミット 周辺 in人吉球磨(~23日、 しR人吉鴉

3月23日 (土)

▽くまてつまつり2019春(~21日、人吉駅~湯前駅間)

3月24日(日)

(くま川下り人吉発船場) 「人吉球磨は、ひなまつり」エンディングセレモニー

▽ひとよし・くま市民劇場例会「前進座・裏長屋騒動記 ▽龍生園「桜まつり」(人吉市下原田町)

3月31日 (日)

▽海棠まつり(人吉市下原田町・石水寺境内)

▽第4回さかもと菜の花フェスタ2019 (坂本町一帯)

4月8日 (月) (花まつり)

▽柴立姫神社大祭(球磨村一勝地淋)

4月1日 (日)

▽やまえつつじ祭(山江村丸岡公園一帯)

今月の 一言

『文読む月日』 (北御門二郎訳 より

うにすることである。 天から授かっている理性の光を、 人間として重大な義務の一つは、 最大限に輝かすよ われわれが本来 (中国の諺)

表紙写真

「SL人吉」「指宿のたまて箱」 人吉駅機関車庫に並んだ「いさぶろう しんぺい

記念して企画された「観光列車サミットin人吉球磨」 熊本駅と人吉駅の間を走る「SL人吉」の運行10周年を



影をした22日は曇っており、 鉄道ファンを楽しませた。 月22日と23日の二日間、 は 3



人吉が目立たなかったのは残念で 撮影/松本学 (編集部) (関連記事6頁) 多くの この撮 S L

方言を味わう33

ひろしのげっかん・ぎひょう…7

崇光寺論①…28

「あがっ段」34

上杉芳野…26

巻頭企画 平成最後 0 ント

「令和」

雑論

白城松男…32

「平成」を考える

平岡優平…30

第4回坂本町・菜の花フェスタ…3 「観光列車」大集合!…6

柴立姫神社例大祭…8

読書ノート『福井県の歴史』を読む…78

くまがわ学習塾28…77 いもご短歌会…76 前号【くまがわ学習塾②の答え】…75

相良清兵衛隠居所の復原①

北川賢次郎…72

華文俳句社④…71

巻頭言「基地問題を自らの問題として」上田精一…2 くまがわの神さん仏さん⑳[特別編]宮原信晃…4 いわさき楊子…13 学 :: 18 お休みどころ通信⑥ 蜜蜂の飼育 字図で見る球磨の地名 ② 鶺鴒短歌会 思い出るままに⑥ 那須良輔と北御門二郎④ 外来語から学ぶ英単語③ 川辺川ダム問題書評シリーズ②『百姓の川』 倉敷便り28 小説・相良清兵衛⑥ 仏教を救った僧侶「黙雷」③ 漢和字典は面白い② 小山勝清論ノート・資料編②「病床にて」 三月詠草…61 武井京子…65 原田正史…58 前田一洋…8 小野武己…48 興野康也: 山口 啓二…52 鶴上寛治…41 村木正則… 38 37 上村重次…62 冨永和信… 66 森 明香…34 : 42 46

4月(第37号)目次

ギャラリー「無名室」オープン…24

記憶の落ち穂翁

坂本福治…23

建築みてある記鍃「貝洲加藤神社」

森山

山に行こうよ!⑰…25

柳人があじわう漱石俳句③

彫刻家と日本画家の「二人展」…10

誌の

■清藤書店■ブックスミスミ■明屋書店(錦店・免田店・多良木駅店) ■道の駅さかもと■ TSUTAYA 八代松江店

取扱店舗

平成最後のイベント

開会式(坂本グリーンパーク)

電子署名を呼びかけたロバート・カジワラさんの力も与って大きかった。 世界に類例のない統治を許しているのだ。 な訴えを紹介した。 吉新聞に四回連載した。 縄を自らの問題としてとらえるようになったのはこの視察の旅からであった。 小には辺野古県民投票の会の元山仁士郎さん(27)や、 当時人吉新聞編集長だった伊勢戸明さん(本誌の前身「週刊ひとよし」 投票結果を受けて元山さんは言った。 三年後の一九六八年九月、 「政府は県民のうむい 本年二月、辺野古沿岸部埋め立ての賛否を問う県民投票で圧倒的多数(72%)で反対の民意が示された。 沖縄のことを我がことと思って立ち上がる主体性がなければ沖縄返還はいつまでたっても実現しない」(傍点筆者に類例のない統治を許しているのだ。米国追従のだらしない政府を許しているのは国民一人ひとりではないのか。 トを申請したりしての屈辱の 同情という第三者的態度にはいらだちを覚える。私たちは自由も人権も自治も生命も財産も奪われ、 その二回目に当時沖縄教職員会事務局長の喜屋武真栄氏 沖縄の教育事情視察団(熊本県教組派遣)の一員として二度目の沖縄入りをした。

(思い) を重く受け止めてほしい。 日本に住む一人一人が自分のこととして考えてほしい」

投票の実施まで埋め立てをやめるようホワイトハウスに求める

今回の結

半世紀前の喜屋武さんの訴えと、この元山さんの訴えが期せずして響きあった。

伊勢戸さんが存命だったら県民投票の結果を恬として無視する政府の横暴にジャー ナリストとしてどんな警鐘を鳴ら

【訂正】前号6頁の桑原満璃さんのお名前は【まり】ではなく【まる】でした。お詫びして訂正いたします

球磨川沿いの風景を眺めなが 者数は回を追うごとに増えてい 気があった。 参加者全員に地 シシ汁などの食の楽しみも人 地元の食材を使ったお弁当、 つつある。坂本名物のぼた餅 がら山里の春を楽しんだ。 社神宮、荒瀬ダムなどを眺めな パーク)を出発し、 なしの抽選会もあって、 元の特産品が当たる空くじ 坂本駅近くの公園(グリー 同町のイベントとして定着し 参加者は五 参加

200人が参加。今年で4回目。

3月31日に開催された。

主催は坂本住民自治協議会。

らウォーキングなどを楽しむイベ

ントが八代市・坂本町であった。

民手作りの案山子がコースに 者は満足していた。 ただ例年より菜の花の育 その代わりに、

藤本五社神社内の狛犬。 遠くから、 かを確認しようとしていた。参加者によると、

とに思いをはせながら、 齢化が深刻である。 桜が満開で、 並び、参加者の目を楽しませた。 フ不足にならないか。 域のほかの地域と同じく少子高 加者も多かった。 楽しいイベント 準備はたいへんである。 それに満足した参 今後、 そういうこ スタッ

-体の狛犬に近くづき股間を確認していたという。

私が沖

私が初めて沖縄の地を踏んだのは一九六五年八月であった。観光旅行であったが米政府統治下のため予防注射を受け

"渡航

だったことを苦々しく想い出す。

の主宰者)

の勧めでこの旅で受けた衝撃を人

(後の参議院議員)

の血を吐くよう

縄の基地問題を自らの問題として

参加者の声

て懐かしかった。次回も参加した

昔の風景がそのまま残ってい

だいていた。それだけでうれしかっ

②生まれ故郷のイベントなので参加 都会では味わえない自然ゆたかな した。 ガイドさんは中学校のとき 声をかけたら覚えていた 歩きながら心がおちつ

でに身体を鍛えておきたい 点ではバテ気味になった。 長く感じた。

③休憩地まで楽に歩けたが、

ハグ (佐瀬野のお堂)。 坂本にはハグの文化は 数を重ねていくと、こういう状況が増えていくだろう。



ゴールまで、あと少し、もう少し。

さまざま

住民手作りの案山子 がズラリ。入学式や 農作業、中には金栗 四三の姿も。



ばかりで、 が和んだ。

伝わる案山子 んの気持ちが 地元のみなさ







SL人吉に声援をおくる参加者。毎年恒例である。



ないと思っていたが、そうではなかったようだ。回



昼食と抽選会。「鶴喰米」などの特産物が 賞品にだされて盛り上がった。

人吉駅のホームに到着する「A列車で行こう」 企画された「観光列車サミットin 親子連れの注目を集めた。 崎線の観光特急「指宿のたまて箱」や、 L人吉」の運行10周年を記念して 日間開かれ、 多くの鉄道ファンや 人吉球磨」は3月2日と23日の二 熊本駅と人吉駅の間を走る「S

と周辺にはおよそ5000人が集ま 熊本県内で休日を中心に運行されてい が人吉駅のホームに集結すると、駅 「A列車で行こう」など6つの列車 大にぎわいとなった。

周囲は大勢の見学者で黒山となり、

JR人吉駅のホームにJR指宿枕 園シンフォニー」。 機関車庫には「指 宿のたまて箱」「SL人吉」が並び、 せみ」、その横にはくま川鉄道の「田 い」、3番ホームに「かわせみ 1番ホームに「A列車で行こう」、 ムに「いさぶろう

やま

吉市で観光列車サミッ

「ななつ星 in 九州」も偶然通り過ぎる

左から「いさぶろうしんぺい」「SL人吉」「指宿のたまて箱」

機関車庫で シンポジウム

り」「夢の列車」をテー シンポジウムが開かれ、 造りの機関車庫内で マにパネリストたちが 意見を交わした。 「観光列車とまちづく 2日目の23日は、 石

動画に収めていた。 貴重な集合写真をカメラや

ている郡市の取り組みを紹介しよう

観光列車のおもてなしに力を入れ

と企画。日ごろは立ち入ることがで

たきょうは歴史的記念日で す。観光列車の聖地と れだけの観光列車が集まっ 二郎代表理事は「人吉にこ 人吉温泉観光協会の北昌

各地から駆けつけた観客席は大勢の

きない同車庫内にステー

ています」と話してい なるような予感を感じ



機関車庫内で開かれたシンポジウム(松本晉一氏撮影)

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15



お神酒、赤飯のほか多数の品がふるまわれた



同神社境内



13号25頁以下参照。

同例大祭については、

本誌12号19頁·

69頁以下、

市などからの参拝者が集まった。

芦北町、

八代市、

人吉

地元のみなさんによる参拝者の「お接待」にうつった。

午前10時すぎに神事がはじまり(写真①)、その後

参拝のお土産が用意されていた。以前は、男根形のお 菓子を準備していた。製造会社がなくなり、現在の形に 変わった。

かがった。地元の球磨村のほか、

神事は、神社の由来にしたがい「柴」を奉納する点に特徴がある。それを除けば神事は簡潔で、 祝詞は「賽神(さいのかみ)」の神事と共通する内容であった。

れる。 利益」があるとさ りしたところ、 供に恵まれなかった 年以上経っても、 半身の病気に「ご 4 月 8 日

た」などの話をう めることがなくなっ に恵まれた」、 て続けに3人の子 足や腰を痛



(旧暦3月4日)、

球磨村淋地区で柴立姫

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

『家と日本画家の「二人展

「もっこすとおどっぱす」

彫刻と日本画

示された。ベテラン作家の「二人展」

気軽に、作品を楽しめた。

ら同7日まで開催された。 日本画家岸部孝子さん(56歳)の「二 人展」が八代博物館で4月2日か 彫刻家・杉英行さん(74歳)と

障壁としての「壁」がなくとも方

しまった人間の不自由性、

あるいは

前者は、

「壁」に閉じ込められて

定と不安定を同時に示していた。 間の使い方が上手く、その曲線は安

は彼の代表作とみていい(写真①)。 作品「カオスから浮上するは方舟

11「再生

-光と風を求めて」は

向性を見いだせずにいる人間の苦

あるが、 のうちの48点が展 は数多くの作品が 今回はそ



1 MH (804) ## 47 (84A)



作品②「再生一光と風を求めて」

作品④「妙見神渡来」

作品③「紙を漉く人」

出に自ずと目が向かった。

の作品を観るとき、

色の選択

創

「もっこすとおどっぱす」

報告(披露)する場を特に設けなかっ 周知のことであったが、 年8月に結婚した。二人の結婚は、 は岸部のことである。二人は、 者)は杉、「おどっぱす」(悪ガキ娘) タイトルにした。「もっこす」(頑固 たようである。 杉と岸部は、これを「二人展」の そこで今回の「二人 そのことを

を写実的に描いていた。それは生活

存としての菊・桜・肥後椿などの花々 的実存であることを意識し、その実

恐れがあるが、

それは彼女の意図で

はないであろう。

日常の1回性を描

形象を強めれば偶像崇拝につながる 染むかという問題はもちろんある。

が普通名詞ではなく、

それぞれ一回

のように柱を組立ていた(写真②)。

界にも挑戦し、 を基礎にしつつも、 あった (写真③)。

作品「妙見神渡来」

岸部は神話的世 こうした日常件

を描いた(写真④)。

神は形象に馴

平々凡々にみえる日常

4本の柱を彫り出し、

天に伸びるか

傷んだ楠で台座と

空間に実在する人間に対するかぎ

りない愛情を基礎にしていて、

色の創出が課題になる。

その点にお

日本画ではどうしても

いて写真とは本質的に異なる。

「紙を漉く人」と連続したもので



杉・岸部夫妻

「壁」・「カオス」への「回帰」をモ 元への螺旋的弁証法的転回としての

フにしているようにみえる。

(カオス的世界)を表現しつつ、

来を示唆しつつ、そこから新しい次

それからの脱出を描き、

未来の出

とともに、配偶者に対する二人の愛 かならない。「もっこすとおどっぱす」 情表現である。 はシニアカップルの自己紹介である 示会は二人の結婚披露の宴の場にほ 展」を二人は企画した。

それぞれの作品の展示は 結婚披露の「宴」であるとすれば、 二人は、 「宴」にほ 彫刻と日

彫刻の展示にバイオリンの演奏をそ ある展示会になった。 踊」(立迫なぎさ)をコングロマリッ える機会は以前にもあったようであ い。それぞれが独立しつつ、 トさせた。高山と立迫は側杖ではな 山大地)を加え、 「カオス」はひとつの「宴」で さらに「創作舞 調和の

> 物館再開の記念すべき時にはじま あるとともに一つの「美」である。 工事に入っていた。「二人展」は博 八代博物館は昨年12月から改修 0人を超えた。

【うえむら・ゆういち/編集主幹】



コングロマリット



高山のハンドフルート (ピアノは宮嶋のぞみ)







菜の花の中に糞ひる飛脚哉 蟹に負けて飯蛸の足五本なり 朧の夜五右衛門風呂にうなる客 のら猫の山寺に来て恋をしつ 犬去つてむくつと起る蒲公英が 日は永し三十三間堂長し へと大な田螺の不平哉 // // // // // //

柳人があじわう漱石俳句

いわさき楊子

水仙の花鼻かぜの枕元

漱石30歳

人れて詠む漱石俳句の特徴がみられる。

漱石の落語好きは有名だ。ユーモアや穿ちを

鼻風邪で匂わなくて 「花」と「鼻」を

ふつつかな

重ねて楽しまれたのですね。 がら申し上げます漱石先生。 名句ではないことは確かです。と、 水仙が枕元に置かれているという風景は幸せ

鳴くならば満月になけほとゝぎす

漱石25歳

このように、

である。まだ俳句を本格的には学んでいないとき はずだったが、子規はライフワークとしていた「俳 伝えたいことを直接、 に手紙に添えたというところから、 漱石が子規に 秀吉、家康の人柄を表した有名な句の本歌取り 子規宛に送った手紙に書かれていた句だ。 句分類」に没頭するあまり落第する。 漱石と子規は一緒に東京帝国大学を卒業する 語りかけるように詠んだ句 そのとき

> と現在につながる新興川柳の普及が始まった。 句も川柳もまだ黎明期だった。 顔文字をならべて謝ったつもり ひょうとこの面付けるとき下を向

ない。子規の俳句革新運動に遅れること10年、やっ

川柳のような句はあげればきりが

サンズイ偏の名前で自称革新派

【いわさき楊子/川柳と俳句の愛好家、 熊本市在住】

くまがわの神さん仏さん ⑫ [特別編]

一洋先生と行く「大人の修学旅行

宮原信晃

(球磨の六観音と三社参り

バスの中の28名が笑顔で出発した。 人吉駅前を早朝8時半にマイクロ

村山の観蓮寺(人吉市)

観音は 「大悲堂」 という大

方にある神社の古い特徴を表した神

社と相良村の出合宏光さんが

お話になる。

と山本神社が見えてくる。

球磨地

村山観音堂から車で10分も走る

山本神社(相良村)



水上村の生善院にて記念撮影(3月21日)

龍泉寺参道のお地蔵さま ●深水観音(相良村)

江戸の前の時代に深水宗方が 深水観音にお参りしたあと、

さんからお聞きする。 相良藩に貢献したお話を出合

その深水宗方の墓にもお参りした。

るので参拝する機会が少ない神社。 フルーティー道路沿いにある神社。 日本の神社の特徴がはっきり見える この道をスピードを出して通り過ぎ ●須恵諏訪神社(あさぎり町須恵) 相良村から水上村へ東西に延びた 前田先生がお話をされる。

●栖山観音(多良木町)

の方にはお辛い場所。 に登ることが出来る。しかし、 段ではなく坂道を登ると幾分だが楽 悩まされる。駐車場の入り口から階 音は駐車場より登ると急な階段に 上にあることには間違いなく高齢者 多良木町の北に位置する栖山観 山の

なれる。

観音様でここにお参りすれば幸せに

かし観音様は超~

大きな千手

●生善院 (水上村)

昔のままの観音様 (宝陀寺観音)

当寺は私の父、 を物語るお寺様。 化け猫騒動の歴史

さんの石仏を制作し 十郎(1900) 1994年) がたく 宮原

建立しているので説明は宮原が担当 お話した。 話や十三仏、 相良新四国札所の記念碑の 弘法大師石像の事も

●龍泉寺(水上村)

話とも宮原が担当した。 刻んだ左膝を立てたお地蔵さんの (今のあさぎり町免田の石工) 西国三十三仏も宮原十郎の作であ 800年ごろに建立された平吉 参道の入り口の六地蔵や左右の 境内の中央にある江戸時代の

●ふきのとう(水上村)

いっても30名が丸々座れる部屋もあ 川さんご夫婦も昼食会に参加 龍泉寺の隣の食事処。 生善院から合流して参加した 食事処と

15 くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15 御本尊の観音様について前田一洋先

が参拝者を睨んでおられる。

大きな千手観音様と四天王様 それをくぐるように堂内に入れ

生のお話が始まる。

きな提灯がお堂の入り口に掲げてあ

紹介が華やか。 て頂いた。美味しい昼食後には自己

●宝陀寺観音(湯前町)

た豆)が有名である。 味わえない「ささげ」 新しい駐車場と今ではここでしか (あずきに似 相良三十三



(久米熊野座神社)

祝詞をあげる椎葉宮司

と犬童球渓記念館があった。 そこから南へ300mほど歩く

ことが出来る。 開けて頂き、たくさんの資料を見る 前田一洋先生が犬童球渓の代表作 平日でも予約をすれば記念館を 今回の旅の案内人、

鼓の音が止まり宮司が祝詞をあげ、

が神妙な面持ちで頭を下げた。太 殿へ入りこの旅の参加者30名全員 参拝する空気がそこにはある。

単な挨拶で済ませた。 き閉会式もバスの中で簡 することが出来た。 参加者のみなさんと合唱 午後4時、 人吉駅へ着

●犬童球渓記念館(人吉市)

八吉のお城の真西に永国寺があ

とを教えて頂いた。神様、仏様が

しっかり方角で手を結んでいる場所

この方向に黒肥地の青蓮寺があるこ た。お詣りをして階段を降りるとき、 前田先生が代表で榊を神前にあげ

であった。多良木は歴史文化の町だ。

回となる大人の修学旅行 で観音巡りしましょうね 「来年もまた、 この旅行のD した。 V D

観音様が昔々のま 観音巡りでも上位の さんがいてくれて漬 車場に地元の土産屋 お姿で参拝者を迎え て頂く。帰りには駐 人気スポット。 お美しいお顔と

城泉寺(湯前町)

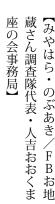
ここの勢至観音様を模写した新し らりと並ぶ所。中央には、どっしり は大学院生のギャルである。 い観音様が展示されていた。 弥陀三尊が美しいお姿でおられる。 と阿弥陀堂があり、 九重石塔、 国指定重要文化財の七重石塔、 十三重石塔が境内にず 鎌倉初期の阿 5月の 作者

> る。 時代から厳粛な時間を感じる空間 のお話が堂内に響く。 に変わった。 連休過ぎまで見学出来るそうであ そして前田先生の阿弥陀三尊 それは鎌倉

●久米熊野座神社(多良木町)

あった。 奥まった森の静寂の中に神社が 他にはない、 襟を正して







までご連絡下さいませ。

致します。

ご希望のお方は編集部



犬童球渓記念館近くで記念撮影

城泉寺の新しい観音像

建築みてある記

红をあるく

学

量平は、

百町新地(文化二年=

野津手永の惣庄屋・

鹿子木

年=一八一九)に続き、文政五年

一八〇五)、四百町新地(文政二

工の同年、

土木事業に秀でた加藤

町新地完成の御礼として、

貝洲加藤神社 (写真①)

清正公を熊本市の本妙寺より勧請

したものである。当時は寛永八年

(一八二二)、息子・謙之助ととも

写真① 二の鳥居から見る拝殿

されたものであるが、

そのうち江戸

平野の三分の二は干拓によって造成

制のもとであり、貝洲加藤神社も (一六三二) の新寺建立禁止令の統

本来、神仏習合であったために、

に七百町新地を完成させる。

この巨大な新地へは、

請されたようである。

さて貝洲加藤神社は八代市鏡町

その武家屋敷の鎮守として特別に勧 地を藩主・細川斉茲の邸宅とし、

拓地がこの七百町新地である。

時代につくられたもっとも大きな干

ら麓川用水路(新川、

文政五年= 球磨川か

麓川用水路の着工は七百町新地着

で一〇分、最寄りのバス停「文政小

八二二)を通じて配水される。

貝洲にある。

「有佐駅前」

からバス

鏡町両出の交差点に、 学校前」で下車する。すると目の前、 南新地の工事請負主・小林徳次郎 正十年(二九二二)、 居が立つ(写真②)。 鎮座百年の大 県営北新地・ 大きな一の鳥

によって、 最新技術である鉄筋コン

> ば、 納されたものである。 は参道であり、 正面に境内が現れる。 県道三二二号線を直進すれ 「馬場通り」とよば 新地工事中に奉 この鳥居をく この県道

居は天草下浦石工によるものであっ ③)は平成二八年熊本地震により 並び立っていたが、三の鳥居(写真 被災し解体されてしまった。 三の鳥 境内入口に二の鳥居と三の鳥居が





写真③ 熊本地震前の三の鳥居

鳥居をくぐってすぐに石造の参

、引かれている。

工の翌月である。その経路は、

築造された石造の八の字堰)から の遥拝堰(当時は加藤清正によって

龍峯山の麓を通って新地

もに、大正十年(一九二二) は建設年の記銘があって、 道橋(写真④)がある。 の石桁橋である。 擬宝珠勾欄がつくア 玉垣とと こちらに のもの

さて神殿だが、 参道正面に、 手



写真④ 参道橋

あろう。 た拝殿も、 殿を提案したらしい。 を収容できる集会施設としてこの拝 この考えを継承したので 生まれ変わっ

まさに霊廟建築のように重厚であ 創建以来の本殿(写真⑥)は、



写真⑥ 本殿

垂木も周囲すべてが二段で構

21

向拝付きで、 のる。この入母屋造妻入という の上には鬼板、 三間である。 梁間、 桁行ともに柱間の数で 屋根は入母屋造妻入、 銅板葺きである。 勝男木がまま

で唯一である。 神社本殿の形式は、 八代市内

られており、これを蛇腹支輪と 輪の表面には縞々に部材が並べ 曲面の板である支輪が覆う。 出組はせり出した桁を支えてい 周囲をぐるりと出組である。 結されており、柱の上の組物は、 身舎の柱は建具の上の内法長 壁と屋根がぶつかり合うと 柱上部の頭貫と台輪で連 これも周囲をぐるりと 支

殿である。内部の床は石貼りである 拝殿は幣殿とともに平成一八年 前から拝殿、 (二〇〇六) に改築されたもので 奥は板張りの高床とし、 入母屋造平入の大きな拝 本殿が並ぶ。 周囲



指定無形民俗文化財である貝洲加 を擬宝珠勾欄と垂れ壁で囲む。 ある (写真⑤)。 藤神社肥後神楽を奉納する舞台で 市

界で初めて世界一周をして建築研究 大変ユニークな作風でも知られる。 をした人物で、 を取得し、 橋と同年の大正十年 本初の建築史研究者として博士号 者名な建築家・伊東忠太にアド 建設されたものであった。 ィスを受けたらしい。 改築される以前の拝殿は、 「建築」という言葉を生み、 古建築保存の地盤を固 他に追随を許さない 伊東は、 その際、

竣工している。その伊東が、 悟真寺御霊殿を設計しており、 の御霊殿も大正十年 伊東はこの頃、八代市妙見町の

写真⑤ 拝殿内部の舞台

成されており、 垂木とよぶ。 軒先の垂木は飛檐

さわしく、 彫物は、 華やかで具象的である。 江戸時代の終わりにふ



写真⑦ 左に蛇の目紋の蟇股。獅子鼻と籠彫。上に桔梗紋のすがる破風。 そのほか、長押の釘隠金具など

る破風などである(写真⑦)。 げたような形の部材)、 う部材)や蟇股(カエルが足を広 の木鼻の獏鼻と拳鼻、 向拝の木鼻の獅子鼻と籠彫 (向拝の柱の上にあって垂木に沿 そのほか手 向拝のすが 身舎

の目紋や桔梗紋が見られる(写 金具には加藤家の家紋である蛇 の鬼板や大棟、 も用いられている。そのうち屋根 釘隠金具、 る破風尻の隅金具、内法長押の や隅木の木口金具、 ところで銅板は屋根のほか、 勾欄の擬宝珠などに 釘隠金具、木口 向拝のすが

風の降懸魚には桔梗紋がある。 には蛇の目紋、 によく用いられる形の梁)の蟇股 正面の向拝虹梁(虹梁は社寺 向拝のすがる破

> 桔梗紋や蛇の目紋が見られる。こう 身舎の軒下の琵琶板にある蟇股にも した至るところの家紋には、 の崇敬が感じられる。 清正公

がある。 幣殿の右隣にある貝洲神社 小さいながら見ごたえ 象鼻、 菊水の向

> 拝虹梁、 れておりよかった。 で破損したものの、 にあって桁を受ける束)、 虎と獅子の妻飾り。 飛龍の中備な すっかり修復さ (柱と柱の間 熊本地震 葡萄の手

【もりやま・まなぶ/高専教員、



隅木と垂木の木口金具。蛇の目紋と桔梗紋がある



写真⑨ 幣殿に隣接して鎮座する貝洲神社

の駐車場のそばです。お住まいが鹿児島のため、 ばれたそうです。 をとられた時期もありました。 は済々黌から明治大学に進まれ、 「ギャラリー無名室」。 さしさは仏なみ。お住まいが川端なので水害にも漕 指揮したのがラジオ放送され、 ことになりました。 先生の作品が展示されることになりました。名づけて 難をのがれました。 われましたが、幸いなことに、 もあったとか。 つとめない方で、 この度、養子の長船眞之助さんが画廊を建てられ、 高校美術部の先輩の紹介でおつきあい頂く 中川一政とも一緒でした。 ムは「無名室」。 あまりご自分のPRに 先生は威厳に満ちた人でしたが、 知る人ぞ知る、 何と、ベートーベンの「運命」を 昭和三十年頃の事です。 十円もらわれたこと かなりの絵画作品が 絵では春陽会に入 「義正一政」と呼 という状態と思い 千葉大学で教鞭

必ずや心安らぐ部屋になっていると思います。 土・日の開館(午前十時三十分~午後四時) 人吉市上青井町の熊本銀行

致氏撮影の写真

【さかもと・ふくじ) /画家、 人吉市】

23

記憶落糖

There as a COU work to past

7 O) 36

絵と文/坂本福治

恩人

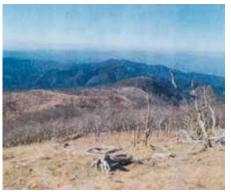
長船義正

先 生

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

700

「人吉球磨ハイキングクラブ」通信より



白髪岳山頂から陀来水岳方面を望む

白髪岳~陀来水岳へ

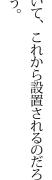
の石野公園に8時集合。 気はギンギンに冷え込んでいる。 2019年1月27日、 すでに車が9台ほど停まって 霜が降りて風はないが空 本石レイ子さんの車で出 登山口に9時到 参加者 人吉市

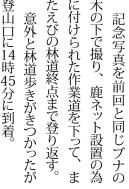
分到着。期待していた霧氷は無 激痛を覚える。猪ノ子伏で手袋 12時、陀来水岳へ出発。 澄んだ冷たい空気が広がって 陽だまりで昼食。 白髪岳山頂に11時25分到 手袋をしているのに 三池神社に10時50 出発する。

だ竹薮が残っていたのだろう 尾根伝いに歩き、 がら下ったと記録にある。 は2004年11月16日に一 13時05分に到着。 このルート ていた。立ち枯れた木の多い 直下に陀来水岳への標識が、 人吉山の会によって設置され 鹿防止ネット等 陀来水岳へ トを探しな

記念写真を前回と同じブナの 意外と林道歩きがきつかったが 口に14時45分に到着。 鹿ネット設置の為











陀来水岳山頂のブナの木の下で

テープカットする長船さんと三原さん (3月22日)

1 9 7 9

ら絵画の道に進む。 学から明治大学に進学。 頁の坂本福治さんの稿も参照のこと。 名室随想」(1967年)がある。 などの設立にも参画する。 青井町生まれ。済々黌中 春陽会に所属し、 八吉球磨総合美展 法律の勉強か 著書に「無

長船義正氏の作品を展示するギャラ 没後40年を迎える人吉市の画家・

長船義正氏の貴重な絵画を展示

長船眞之助さん(83)

の手により

無名室」

「無名室」が、

鹿児島市在住の

の養子で、人吉市のアトリエに残さ

プンした。眞之助さんは義正氏

れた作品を多くの人に見てもらいた

いと準備を進め、地元の三原竹二さん

開設セレモニーにこぎ着けた。

88) らの協力もあり、

3月22日の



年くらいまでに描かれた油彩画39点

開館は金・土・日の午前10

建て直した木造2階建てで、

昭 和 40

ギャラリーは自宅のあった場所

油彩画 39 点を展示しているギャラリー

学生以上200円、

高校生以下は無

時半から午後4時まで。 入場料は大

て無料となっている。

今年5月末までは開館記念とし

上杉芳野の「あがつ段」34

平成最後の壯行会

日々努力し誇りを持って働 しろ戦争を無くすために

いております」と述べた。 族会の役員を引き受けた。 ているから私は自衛隊の家 あの頃は自衛隊父兄会 長男たちが頑張ってくれ

族会となった。 水害や地震 といったが、今は自衛隊家 を救出に向かった時、 などいろんな場面で被災者

今現在、 が守るのだろう。 のが実情だ。でも自衛隊に 自衛隊への入隊者が少ない し仕事がある時代だから 族会の役目でもあるのだ。 る様にすることが私達、 が安心して働くことが出来 入隊者がいないなら国は誰 安否を確認して隊員 民間企業が安定

者の壮行会である。

あるのではありません。 衛官は戦争をするために 表挨拶をした時「我々自 衛官となった。 成人式で代

るかもしれないが、 ばかりを考えている人がい 救ってきた。 は若い隊員の力で人々を かりではない。 いざ何かが起こった時に 戦争をする事

> 海・空の自衛隊入隊予定 れい館で開催された。 壮行会があさぎり町のせき 最後の人吉球磨地区合同 攻めて来ないのだと思う。 てくれているから他国から むしろ自衛隊がいて守っ 陸 •

は今から22年前、

航空自

を退官した。私達の長男 36年間勤めた陸上自衛隊

の隊員たちの住む家族に会 助けをする隊員たち。 家をほったらかしてでも人

の人吉球磨地区から17名 が希望してくれたのだ。 と比べ少ないとはいえ、 けての合格者である。 厳しい試験を受け第 第二次を無事通り抜 以前

ルが行われた。私達家族 さんたちも早くから集ま 会の各市町村の女性部長 朝早く集合してリハー 计



人吉球磨自衛隊家族会の女性部長のみなさん(3月9日の合同壮行会にて)

さん達も息子 いるのが皆さ 気持ちで協力 らとの温かい 張っているか が自衛隊でお して下さって いるから、 世話になって 頑

いた。 飾ってお茶の 賓待合室の机 接待もして頂 の上にも花を もちろん、 た花で演壇は から持ち寄っ

どこのお母 ん担当。

決意を述べる時、 入隊予定の17名全員が 「どんな

んの会話の中から感じられ

事も頑張り抜いて人々を助

国を守る立派な自衛

り、自分の家

北崎雅也さんがお礼を述べ 者を代表して多良木町の 温かい歓迎のことば。 安心して入隊出来る様に 隊員による激励の言葉を鹿 が祝辞を述べられた。 議員の松田三郎様、 えない堂々の入場、 人吉出身である扇本昴さ 児島県川内駐屯地所属の から副本部長の島田稔様 員の金子恭之様、 来賓挨拶では衆議院議 先輩1年とは思 後輩が 県議会 熊本

> を無事に終わる事が出来 あったから、 行会であった。 聞いていて熱いものがこみ ることがわかった。それを 違ったが、皆同じ思いであ 官になります」と表現こそ 上げ涙が流れた。 これまで皆さんの協力が 平成最後の感動的な 全ての人に感謝で一杯 私も部長の役

観光バスガール、 【うえすぎ・よしの/ボランティア ございました。 本当に今までありがとう あさぎり町上】

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

崇光寺の由来

田来書は次のように記す。

①開基・橘武冬

麓之城主・相良義陽家臣・宮原城主橘金忠之舎弟・橘武 八代郡高田郷上松求麻村。 真宗崇光寺開基ハ八代郡古

称シ、真宗本願寺之末寺ト相成リ、 主義陽之許可ヲ受ケ、 磨郡人吉ノ代官ニ任ゼラレ、多年人吉ニ在勤ノ内、 憫之餘リ、両氏菩提之為メ代官辞職シ、 武冬、城主相良義陽に従事、 中二、 弘治二年(1556年) 四男武忠・五男武良・同時ニ相果、不 玖麻郡別府村二一寺創立、崇光寺ト 忠節縷々、 武冬、専救了ト改名 出家之願ヲ立テ城 武功二依テ球 息子五

②二代教信

28

ヲ相落ツル。 従来之門徒ハ地方ノ便利ニ任セ、 玖麻郡悉ク真宗停止、改宗不服之者、追拂之令ニ由リ廃寺、 月)、家臣東左京進薩州島津家二随従、 代々城主相良義陽討死二付(天正9年=1581=12 随意ノ宗旨ニ託シ、 同家之下知ヲ受ケ、

落着。現今寺屋敷ト号ス。 右教信ノ妻子共、八代郡高田郷上松求麻村内合志野へ

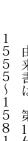
③三代教念 (教信ノ子)

建候ニ付、右教念ヲ当寺再建ノ開祖トシ、 ヲ受ケ、文禄元年(1592年)合志野村江崇光寺ヲ再 加藤清正公入国ノ砌リ、 従来之由緒ヲ以テ願出テ、許可 代々住職相続。

④第七代善瑞代

当時ノ坂本江移転。 天明年間(1781 年~1789年)、 火事消失ノ後、

地方門徒ノ願出ニ由リ坂本江移転ス。 合志野村ニテハ洪水ノ時、 玖麻門徒ノ参拝不便ニ付、 同



良は一向宗禁圧に向かったとするが、 に一向宗を禁圧していた。由来書は、 末寺」に始まるとする。 1555~1581)に玖麻別府にあった「真宗本願寺之 くとも弘治元年 由来書は、 第18代義陽の時代(弘治元年~天正9年= (1555)にさかのぼるのに対し、 しかしながら、 相良による禁圧は少な 島津の圧力を受けて相 当時、 相良はすで



由来書にいう「玖麻郡別府村 万江別府の崇光寺跡。 山江村の「万江別府」を指す。ついでながら万江別府の人 たちはすべて真宗人吉別院の門徒である

は一向宗禁圧が厳しいため、玖麻に戻らず、 を禁圧するのではなく、玖麻とは異なる宗教政策を採用して ば相良は、支配していたとはいえ、八代にかぎっては一向宗 たのを島津が強めたと読めなくはない。しかし、素直にみれ に先行している。 の禁圧は慶長6年(1601)で一向宗禁圧は相良が島津 しかし義陽の死を機に八代を去ることになり、 後者については、相良の禁圧が微弱であっ 合志野の地に寺 同地で

島津に制圧されていた時代があったこと、 いう地名を明記していることは重要であ ざるをえなくなったこと、④「別府」と が一向宗を禁止していたこと、②相良が ③義陽討ち死によって家臣が玖麻に戻ら 少なくとも、由来書が①島津と相良

を移したとみるのが自然である。

ていったのではないか。 だいに浄土真宗としての色彩を強めてい に天台系私寺として創建されたが、 別府から合志野への移転につながっ

『坂本村史』は、崇光寺は、義陽時代 「天正10年代から

慶長5年までの間、およそ18年間が、崇光寺が真宗寺院と 持仏堂への変身時代である」として 1600年)、

して再生する第一段階、

之年貢地也」とする。 向宗に転じ、 肥後国誌は 「願正寺末寺。慶安四年(1651)開基 合志野の地に移転したのか、 そうであるとすれば、 論点になる。 らい、 同寺が つ

> と、八代は島津支配、秀吉支配、 には島原の乱が発生している。 配と変遷していく動乱の時代であった。寛永14年(1637) いでながら、響野原の戦い(相良の八代支配の終焉)のあ 加藤支配(1600 小西支配(1588~ 1632年)、 細川支

> > 30

を考える

平岡優平

を語ることを可能にした。壁崩壊はフ 制定100年後にあたる。それぞれの 200年後、1889年の明治憲法 た。1789年のフランス革命から ランス革命が未完のプロジェクトである 「89年」は偶然だが、世紀単位で「人権」 1989年、 ベルリンの壁が崩壊し

ランプは異端児かもしれない。 壁をつくるとは誰も考えなかった。 フランス革命と人権思想を共有するア 契機になった。「平成」はベルリンの壁 こと、人権の現代的課題を明確にする 崩壊と同じ年にはじまった。 そのとき メリカの大統領がメキシコとの国境に

るようになる。グローバル化は急角度 ピーチはその極端な例である。 表と裏であった。そうした世界の動き ていた。そのため各国はナショナリズ 化」は「新自由主義」の色彩を帯び で進行していた。この30年は「グロー 政治思想は内向きになった。 は日本にも影響を与えている。 バル化の時代」であった。「グローバル リスも、その後、 ム化に向かい始めた。 両者はコインの アメリカだけでなく、 EU離脱を選択す ヘイトス

ローバル化」と「ナショナリズム化」 れることが多い。 費税は人口構造の変化と関係づけて語 された年であった。 は毎年のように政治課題になった。 消 トだった。その後、消費税の引き上げ 平成元年は消費税がはじめて導入 税率は3パーセン

日本企業の国際競争力を支 しかし、大枠には「グ



明党の補完がなければ、その体制は成 た。いま「安倍一強」とよばれる。公 年の参議院選挙で自民党が過半数を 性の分裂の始まりにほかならず、その 税論の底部に潜んでいる。それは方向 ある。小選挙区の選挙方法がそれを 政権党の得票率は25パーセント以下で 立しない。しかも、公明党を加えても、 える税制度を用意しなければならなと 可能にしている。 いう「新自由主義」的皮膚感が消費 自民党単独政権時代は終わっ

数の豪雨災害、同2年3月11日の東 の阪神淡路大震災、広島などでの多 とつづく。 日本大震災、同28年4月14日の熊本 発生した。その後、 2年11月2日には普賢岳の火砕流が 平成は自然災害の30年であった。同 同30年9月6日の北海道地震 平成30年は「西日本豪雨」 同7年1月17日

と記録されている。

した。 あった。3000以上あった自治体が 合併を通じて1700程度まで減少 ではない。地方政治史的には「平成の れは昭和20年8月15日までを軍国主 災害の時代と位置づけられてくる。そ 換えるとき、「平成」は自動的に自然 思潮の問題である。 自由主義」が潜んでいる。都市部への 大合併」の時代と要約される30年で 義の時代と概括するのと同じ思考様式 現象である。それを元号の単位に置き いう元号に由来するわけではない。 人口の一極集中は偶然ではなく、 989年から2019年の西暦的 もちろん、自然災害は「平成」と 時代精神が元号に宿っている結果 しかし、基底には、 「合併」は「適正規模」論に基 やはり「新

【ひらおか・ゆうへい/八代市】

白城 松男

発表直後から、「令和」は井戸端会議の議題になり、 ざまなことが語られた。 4月1日、政府は次の元号を「令和」にすると発表した。 さま

- 「令和」の意味はなにか
- 出典は何か
- 「Reiwa」か「Leiwa」か
- 外国にどのようにして説明するのか。 Peace」か Order and
- 行政機関は「令和」を使用するのか。

けで終了する運命にある。「令和」も例外でないだろう。 1年後に「令和」はどうなっているだろうか。 興味津々だ。 上記の5点について大まかなら答えられるかもしれない。 しかし現代社会では、大抵の「ブーム」は表面をなぞるだ 一般人だけでなく、マスコミ報道も加熱した。いまなら

> の名前と顔はしばらくは記憶に残るかもしれない。それと 和」も同じ運命を辿る。「平成」と同じなら、菅官房長官 「平成」の意味・典拠を直ぐに説明できる人は少ない。「合 もちろん、「興味津々」状態が1年つづくかは別だ。「昭和」、 し訳ないが、たぶん、そうだ。 同じ現象が菅さんにも生じるかもしれない。 安倍さん、

うである。大臣クラスだと、たいていの名前は忘れ去られた。 首相の名をたいていの人は記憶していない。 首相ですらそ それにもかかわらず戦争を開始したときの首相、 この100年の日本の最大の問題は太平洋戦争である。 微視的には、 4月1日に5月から使用する元号を政府 敗戦時の

が必要なら年頭である。統一地方選挙、参議院選挙の日程 に合わせた姑息な手段として天皇交代

られたが、どうみても、5月1日の改元は不自然だ。「改元」 が決めた時、政治の悪臭が漂った。あれこれの理屈が並べ



みえなかった。先日、新紙幣の図柄が発 新元号の発表時期は選択されたとしか 挙を意識した政治的宣伝である。 表された。これも「令和」と同じく選 【しらき・まつお/八代市】

絵と文/松舟博満

ごうた。 鉄砲は、 銃は「はじき鉄砲」ピストルは 変わっ頃じゃったで、 ライフル ど戦争ごっこから西部劇んひっ 「突き鉄砲」んなった。 おどんが小みんか頃はちょう 使う玉で呼び方ん違 突き

茶の実鉄砲

ひらく前の たで、こん時ん実ちゅうた花の 実は「ハジキ鉄砲」ん使いおっ

まだ丸うし 蕾よま前ん

て硬か花芽 んこっで、



んして押し込うで玉んしおっ そっばひっちぎって茎ん方ば先

ジュゥゴマメ鉄砲

押し分けながら見っけてちぎら ちゃ生っとったで、長んか葉ば たで、押し込うで玉んしおった。 そんままん紺色の実のちぃとっ ちゃダイズんごて殻はのうして、 とって。 んばんじゃった。マメちゅうたっ 田ん中の畦際ん良ううわつ 細っして長んか葉の下



ナンテン鉄砲

た。似とつてえ は、側たんの柔らしかったで実 まっきゃ(真っ赤)んなった実 れとったで、どこん家でっちゃ いっしこずつ取って玉んしおっ の生っとっ所っからうち折って、 便所ん横けぇ植えてあった。 ンの葉ばかじれば良かて云わ 腹ん痛うひなった時んナンテ



玉んした。

【まつふね・ひろみつ/青井阿蘇 神社・文化苑「童遊館」】

川辺川ダム問題を取り上げた本 書評シリーズ②

球磨

中里喜昭(2000年、新評論)

高知大学助教 森明香

にことを教えてくれていた。 川との距離の近さを感じさせる文化をこの流域が育んできおそらく川漁をしていた。いま思えば、その光景は、人とおそらく川漁をしていた。いま思えば、その光景は、人といかにしたとき、とても新鮮な驚きがあった。その方は明との理離の近さを感じさせる文化をこの流域が育んできまたことを教えてくれていた。



・ 初めて流域を訪れ、 五木村で接した語りや 水没移転を余儀なくさ れた地区で直面した情 景、そして川辺川ダム

対して共闘するに至る背景については、 体験者・受益者農家・川漁師・市民が川辺川ダム建設に も反対の声が上がっていること、くわえて中下流域の水害 ただ、治水なり利水なり「受益者」とされる人たちから がダム反対を掲げていることは、論理として理解できた。 自発的移転を余儀なくされる人びとや、川漁を営む人びと も言及した通り、 「ダムがあった方が水害がこわい」といった証言は、 れる中下流域の人びとの口から語られる「ダムの水はいらん くのに十分なものだった。 当時通っていた大学の図書館で見つけたのが、 入手できるものには目を通したい。そう思っていた矢先 筆者の「ダム」への理解の浅はかさを暴 調べ始めると、 皆目見当つかなかっ 水没予定地の非 本書 冒 33 号で

姓の川・球磨・川辺・ダムって、何だ』だった。

9 ∃)° 現地に通い始めた。ペートル会理事長の緒方俊一郎先生と 時代状況のハラワタみたいなものが必ず出てくる」と考え、 ることが不可欠だと思い至ったという。 ペートル会を育んだ地域の「暮らしの根っこ」をこそ見て回 ル会の地域福祉活動の実践を支える精神を理解するには、 施設長の礼子先生ご夫妻らへの取材を進める中で、 に対する欺瞞とが重なって見えたことから「ここを抉れば、 小説『死せる魂』と、 国認める〉との記事が朝日新聞に載った(1998年10月 同じ頃、〈死者76人から「同意書」 川辺川土地改良訴訟で 頼が、著者である中里喜昭さんに寄せられたことにあった。 よる先進的な地域福祉活動を全国に紹介してほしいとの依 本書の発端は、相良村の社会福祉法人「ペートル会」に 中里さんは、 帝政期ロシアを描いたゴーゴリの長編 川辺川ダムをめぐる官僚機構の民衆 ペート

本や国家から常に発電などダム開発の適地とみなされ続け見て回っている。1章でこの流域が戦前・敗戦直後から資その言葉通り、本書では川辺川・球磨川流域の暮らしを

改良事業変更計画について、 担金とセットになった申請事業である国営川辺川総合土地 じさせていた。同じ頃、 す会)の設立など、川辺川ダム問題を捉え直した動きを牛 清流球磨川川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会(手渡 に暮らしてきた流域郡市民ならではの「環境」の視点から、 神瀬ダムに反対し球磨川下りを守った成果に立ち、川の傍 ができることへの懸念は強かった。その同じ頃に流域郡市民 を生業とする人々にとって、 て、球磨川の誇るアユは生存と繁殖とが脅かされる。川漁 堰堤と長距離の止水域、山の荒廃や河道改修工事も相まっ せざるを得ず、却って下流域を危険に晒すようになった。 域で実証された通り、想定以上の降雨があるとダムは放流 影を落としているかを描き出した。 市房ダム建設以後の流 章) それぞれの生業や暮らしに対して、 ダムがどのような 章)、水没予定地(4章)、市民(5章)、 てきたことを踏まえた上で、水害体験者(2章)、川漁師(3 れた状態で、 かつて人吉市議会や旅館業者らが観光産業の立場から 役場職員による同意書集めがなされていた。 利水対象農家は、受益者による負 川をコンクリート付にするダム 負担金に関する虚偽説明をさ 利水対象農家(6



「令」に昭和の「和」と聞き、安倍政治と結びつく不安。これ

から先、安心できるようにと願う。

外来語から学ぶ英単語 (37) ……藤原 宏

ステッキ (スティック)・エチケット・チケット stick etiquette ticket

この3語は同根で、印欧語根 steig(刺す・とがった)からの派生語です。(33)の「stick・sticker・stitch・stigma」とも関連します。

「stick (スティック)、突き刺す→ (突き刺して) くっつける→何かくっつけた物 → ticket (ティケット)、貼札・切符」のように転化したものと考えられます。

etiquette(エティケット)はフランス語で、「札・貼札・値札・名札」が原義です。 礼儀作法の意は、宮廷で着席順位の「札」を付けたことから宮廷や公式の場での作 法を意味するようになり、さらに一般の礼儀作法をも指すようになりました。

「ticket (ティケット・チケット)、切符・入場券・乗車券・値札・違反切符・免許証」は etiquette (エティケット・エチケット) の語頭音「e」が脱落して生じた形です。

駐車違反切符は「a parking (パーキング) ticket」、スピード違反切符は「a speeding (スピーディング) ticket」といいます。また、片道切符は「a one—way (ワンウェイ) ticket」、往復切符は「a roundtrip (ラウンドトリップ) ticket」となります。

(404)

びながら、利水裁判等でも力を発揮していった。 でり、強い危機感を抱いていた。市民と利水対象農家とが繋がっていく。梅山さんは、農業情勢が逼迫が多農家とが繋がっていく。梅山さんは、農業情勢が逼迫が多い。 強い危機感を抱いていた。市民と利水対象農家者に負担を強いる利水事業の計画変更をめてり、強い危機感を抱いていた。市民と利水対象農家とのでり、強い危機感を抱いていた。市民と利水対象農家とのでない。 があな繋がりは、その後さらに他の主体とも繋がりを広ばながら、利水裁判等でも力を発揮していった。

郎先生の語りを引きながら、 れないと健康は保てない、 絡みあいの中にあるんだと思う。 に住まう人びとの医療とも地続きであることを、 験則にも言及しつつ、 危機感を抱いていた主体が緩やかにつながりながら共闘に至 このように、本書は中下流域でダム事業をめぐって疑念や 「医療は医療だけで成り立つのではなく、 各主体の生活経験に触れながら危機感を抱く経 そしてこの流域社会をめぐる状況こそ、 まず食べ物がきちんと、 証言で再構成し、その後の展開までも これはもう常識。 次のように伝えている。 たとえば、 いいものが確保さ 地域のいろんな そのためいろん 農業は非常に

です」(247頁)。
です」(247頁)。
なれた社会関係の歪み、これを考えるのも医療活動のうちらか、問題はいろいろ。さらに大きいのは、ダムで引き起こうか、問題はいろいろ。さらに大きいのは、ダムで引き起こっか、問題はいろいろ。さらに大きいのは、ダムで引き起こっか、問題はいろいろ。さらに大きいのは、ダムで引き起こったとを考えていく必要があるわけで、それも医療活動のなことを考えていく必要があるわけで、それも医療活動のなことを考えていく必要があるわけで、それも医療活動の

【もり・さやか/高知市】 解したいと思うようになっていた。 解したいと思うようになっていた。 「川と人との距離の近さを感じさせ と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 と受け止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 とでいきない問いを私の中に掻き立てた。 がある。 「川と人との距離の近さを感じさせ とでけ止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 をでけ止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 をでけ止められたのか」。このことを、頭ではなく心から理 をでけたいと思うようになっていた。 文化変容の象徴なのだ」(4頁)と書いた。

中里さんは本書の冒頭で「ダムは、

すなわち人々の生活

一読してすぐに

※本書については、上村雄一「『百姓の川』 について」 本誌 31号 55頁 参照

37 くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

りました」という書き出しであったが、昔忘れぬ友情に二郎さ 日読みました。二郎さんの写真を非常に懐かしく思い、 さん(当時鎌倉在住の那須良輔さん)からのものであった。「熊 いう感じの見出しであった。記事の反響がありそのひとつが良 掲載された。―東大出の五反百姓、故川上博士とも交友―と 新聞の記者が突然取材にきてそれが大きく社会面トップ記事に た状態であった。 先生と二郎さんの交友を聞きつけた熊本日日 先生と私」という原稿を書いたが、 最初の仕事として河上先生の一六通の手紙を基にした「河上肇 ける努力をすることが二郎さんの戦後の出発点であった。 そこへ向かってくもの糸にすがって探求する、そのことを訴え続 対平和の世界」へ向けて理想実現は遠い道のりであるが、 放棄と二一条の表現の自由、言論の自由は大歓迎であった。「絶 二郎さんは象徴天皇制では中途半端だと思ったが九条の戦争の んはホロリとなった。 昭和二一年新憲法、日本国憲法が公布、翌年施行された。 出版社の壁があり宙に浮い 戦後 皆で

二郎さんはこれを契機にこの作品を世に問いたいと思い、

奥球磨、 那須良輔と北御門三 湯前町の偉人 郎 **(4**)

生粋のトルストイアン、北御門二郎 ⑤1

村木正則

と嘆いておられたことを忘れないと述べている。瀧川先生の紹 では夏目漱石やトルストイのような本物はめったにいません。」 湯前と湯山に足を延ばされたことがあった。 事件は当時の文部 総長)の瀧川幸辰先生が弁護士として熊本地裁に来られた際、 大経済学部教授)の「貧乏物語」に感動し先生のご自宅を訪 介で河上肇先生とも親交をもった。二郎さんは河上先生(京 面識があった。 二郎さんは先生と湯山の小道を散歩中に 「文学 心をもち、京都山科の先生の自宅を何度か訪ねてたことがあり 辞職に追いこまれた事件であったが、二郎さんはこの事件に関 省が瀧川先生の著書の中で人間が人間を裁くことを否定する ・ルストイの考えを紹介していることに目をつけ、瀧川先生が 昭和一七年に「瀧川事件」の元京大教授(戦後復帰後同大

る「中央公論」の嶋中鵬二社長に会うことが出来た。そしてつ 京東中野の大内先生宅を訪ねた。初対面であったが大内先生 教授の大内兵衛(当時法政大総長)を紹介して頂きすぐに東 談のためまず京都の瀧川先生を訪ねた。瀧川先生から元東大 見出しであった。 た老博士の未発表書簡は人間河上肇を如実に物語る)」という 河上肇、北御門二郎(食糧難にあえぎながらも晩節を全うし 二郎さんの全国デビューの瞬間であった。それは「栄養失調の いに昭和三一年同誌の三月号に二郎さんの原稿が掲載された。 からも推薦の言葉を頂いた。さらに先生のご尽力で全国誌であ

戦後の民主化の風は地方にも吹き始めていた。昭和二八年に (現湯前町)で九州大学の高橋正雄教授(経済学)



翻訳中の二郎さん

学の先生がソ連賛美でなく厳し 説も面白かったが、マルクス経済 場へ駆けつけた。「先生の講演で で、二郎さんも講演を聞きに会 の講演が開催されるということ は米国の日本占領政策変遷の解 く批判されたのには驚いた」と記 している。 講演終了後先生に質

> た。先生は大内兵衛先生に師事しながら大内先生の教条主義 ときは、二郎さんは世話役を買って出て講演会の成功に尽力し 立場である。 る思想には賛同できない。良さんは常に人道主義、 には右でも左でもなく是々非々である。左翼でも暴力を肯定す めていく立場だったから共感できたようだ。二郎さんは政治的 的でなく、 ヒューマニズムと自由に立脚しながら 「平等」 を求 昭和三一年に先生が講演のため人吉球磨地区を再訪問された 問攻めにした。以来先生と文通を重ね、先生と懇意となった。 平和主義の

情で創刊号のみで廃刊となった。 た。同人誌の名は「座標」と決め希望の船出であったが、 郎さんも創刊の辞や初小説「仮初ならば」を発表することになっ 明さん、真鍋謙二さん、上村久雄さんらが中心となった。二 本中の一級後輩でロシア文学の翻訳家であった。その他池辺道 最初に声をかけてきたのは松本傑さんで、松本さんは旧制熊 ほか熊本の五高時代の先輩後輩や人吉の友人が中心であった。 よって同人誌が創刊されることになった。メンバーは二郎さん 戦後人吉・球磨地区でも自由で創作意欲に燃える文化人に しかし同人誌仲間の交流は続 諸事

二郎さんはハルビン時代の自叙伝的な小説である「仮初なら

の壁は厚く日の目を見るに至らなかった。そのとき昭和四四年、 得て新刊本の出版の可能性を探ったが、またしても大手出版社 妻の美代子さんが引き受けてくれた。さまざまな友人の協力を ば」の続編執筆に集中して完成させた。原稿の清書は良さんの 同社から出版した。 から刊行されることになった。 た。そして真鍋さんの協力を得て「仮初ならば」が「青銅社 同人仲間の真鍋さんが出版社「青銅社」を立ち上げることになっ 他に「生きる屍」や「懺悔」も

注いだのは強い動機があった。それは二郎さんがロシア文学翻 部に増刷された。その版画集のことは朝日新聞でも紹介された。 ネスコからも問い合わせが来るなど予想以上の反響があり五千 諭と二郎さんの訳文をそえた版画集が出版されることになった が美術担当の坂田教諭指導の下、 二郎さん訳の「イワンの馬鹿」を読んで感動した生徒一五〇人 土高校で「トルストイ文学について」の講演がきっかけとなり、 になったある作品の出版があった。 それは二郎さんの熊本の字 一郎さんが六○歳を過ぎてトルストイ作品の翻訳に全霊を 翻訳家としては無名に近い二郎さんがその名が知られるよう 版画集は当初二千部製作されたが、 版画五〇枚とそれに坂田教 全国の書店やユ

訳御三家(原久一郎、

中村白葉、

米川正夫)と言われたひと

ルストロイや訳本の読者のために誤訳問題を世に問うことにし ている状況を看過できなかった。そこで二郎さんは原作者のト 冊であった。それゆえ二郎さんは一流出版社の誤訳が放置され 高時代に出合い原語のロシア語で読みたいと思わせた感動の一 も誤訳が見つかった。「アンナ・カレーニナ」は二郎さんが五 見つかった。 同じように中村白葉氏の翻訳(岩波書店)から 原作を照合してみたところ二郎さんからみると多くの誤訳が りの原久一郎氏訳の「アンナ・カレーニナ」(中央公論社)と

さんは固く決意した。以後二郎さんは自分の目の黒いうちにと 作品の翻訳に心血を注いだ。 いう必死の思いで湯山の山里で農耕をしながら夜はトルストイ 私なりに原作への感動と愛情を込めた翻訳を試みよう」と二郎 ルストイ翻訳に対する不満はあまりにも抑えがたく、 旨であった。この反論は二郎さんの魂に火をつけた。 る。要は自分で完全な仕事をしなければ意味がない」という趣 同誌上で米川氏は「他人の翻訳の揚げ足取りは誰にでもでき 上げてくれた。当然大家からの反論もあった。同年四月二三日、 問題を提起した。同年四月三日に東京新聞がそのことを取り 昭和三五年に熊本の同人誌「詩と真実」に例を挙げて誤訳 【むらき・まさのり) 「既存のト とにかく

20 鶴上寛治

は〈つながる〉 ぎぬ〉で、「糸」 の意。そこから、 と、「帛」は〈白 字形からいう

たのだ。 知った。 いたら、 と ※。 つのまにか本家が入れ替わって この字は ら綿花からとる「綿」だと思って というものが絹糸であることを つながってできる れ替えの手伝いをして、 子供のころ、布団の綿の入 それは間違いだった。 真綿=本当の綿、 《白ぎぬを作るときに 〈まわた〉 のこ 《まわた》

漢和字典は面白い



感じる有閑家族は別の意味で「畜」こそ宝と考 を養う家畜の健康が最も重いはず。 が重そうだが、 最大の関心事? 家畜・貯蓄・ 畜産農家にとっては家族(人間) 蓄財……あなたにとって、 字形からすると画数の多い「蓄」 畜=ペットと どれが

がこれまた別の意味で…。 えているのだろうか? 最近は 世の中は時々刻々に変わっていく。 「蓄電」の技術が進んできて

み方。ご年配からして、 答えはヒロシさん。充分すぎるほど納得できる読 のようにお見受けしたが、 さんだった。 ある駅の名誉駅長さんのお名前が なんとお読みするのでしょうか? 戦前か戦中生まれの方 親御さん「平和」を 「福本平

いた時代だったはずだが。 とにらまれ、 念じておられたのだろうか? 共謀罪、 じゃなかった、 「平和」といっただけで「非国民」 治安維持法違反で囚われて

つるかみ・ かんじ/ 人吉市

小山勝清論ノート・資料編 ②

「病床にて」

昭和37年秋、勝清は熊本大学医学部附属病院に入院した。その後、昭和40年9月4日に人吉の善塚病院にした。その後、昭和40年9月4日に人吉の手塚病院にたよれば、勝清のおそらくは最後の自筆による作品であによれば、勝清のおそらくは最後の自筆による作品である。先月号で紹介した「勝清鳥」は長男の勝樹が聞きる。先月号で紹介した「勝清鳥」は長男の勝樹が聞きる。先月号で紹介した「勝清鳥」は長男の勝樹が聞きる。先月号で紹介した「勝清鳥」は長男の勝樹が聞きる。先月号で紹介した「勝清鳥」は長男の勝樹が聞きる。

る力が残っていたことになる。症状は患者によって違うで、無集プロセス・方針の詳細を確認できないが、上田る。編集プロセス・方針の詳細を確認できないが、上田歌がある。手塚病院への転院直前の作品ということにな歌集には、「9月2日」と「9月3日」の日付のある歌集には、「9月2日」と「9月3日」の日付のある

われる。
ていても、人は筆記する。生きたいとの希望が筆にあらあろうが、父と叔父を看取った経験からすれば、死期迫っ

内容的には、入院中の心象をいくぶん散文的に詠った内容的には、入院中の心象をいくぶん散文的に詠った。この歌集から「勝清鳥」という言葉が登場する。冒頭には、陶淵明が登場する。高田宏『われ山に帰る』によれば、勝清は入院中も陶淵明を手元に都と山を愛せしに、誤って塵網の中に落つ、一たび去って邨と山を愛せしに、誤って塵網の中に落つ、「たび去って「ない」とあり、勝清鳥の「鳥」である。

(春秋

	病床にて	
小山勝清		
のむべかりけり	酒はひそかに	夜も更けて雨脚とおし病院の
カナリヤなれば	歌を忘れし	生くることさまでのぞまずなりにけり

くむによろしき	病院もまた	ようやくよみがえりたる酒の味	いざまずこれに	淵明先生	病院のベッドなれども傾けん	
安らぎのあり	わが家に似たり	入院も二度重なれば病室も	甦りきぬ	酒の味させ	年を経し友とかたれば忘れたる	
思い知りけり	さだめと今は	われならで出来ぬ仕事を残すのも	のぞむこの町	阿蘇の煙を	子等四人便りまばらになりにけり	

子等のため晴着ほしくてさまよいし

雲の如くに

また思いけり

歳暮の街の

灯をば忘れず

万一のことはなけれど万一を

手術の前夜

石の如くに

言いわけもいえざる年になりにけり

病院のまどより遠く大阿蘇の

深夜に起きて

老いたる姉が

一人みとりす

友も子も遠くはなれて伏すわれを

ひとり酒くむ

今もまた一人死にたり病棟の

命はるけし

空かけるなり今日も明日もけがれなき空をもとめて勝清鳥は	なくばかりなり、只ひたすらに、いたすらに、おいっぱいでは、おいっぱいでは、	花匂うなり	野の花をつみてかざれよ黒髪におりてきませり	山椿花たばもちて母ぼさつ	業を思えばわが来し方の七転八倒糞にまみれて死するべし	くまむその酒幸を祈りて一ぱいは先づ東方の友のため	その祝い酒ベッドにあげむようやくに勝とったりな元旦の	子等の姿をおれにぞ思うを背負うてゆく子をれぞれのさだめを背負うてゆく子もわれと思う	老い病みて一人伏すれど年の瀬は
人も多かりなぐさめんとするさいごまで嘘をいゝつゝこの我を	我ののぞみを戦を立つるわれをゆるせよ生涯に残を立つるわれをゆるせよ生涯に	空にきえはく ・ 立成と共に がの床のかくもつめたくかたきとは がの床のかくもつめたくかたきとは	いうごとついに	よみがえるなり よみがえるなり	われ一人おる天地の間	鶯のなく 風寒けれど 去りてまた帰り来にけり故里は	死すてふ手だて枯木のごとく	ひとりのむ酒のあじわい人問はば すぎこし方の 悲しみの味 大阿蘇の彼方よりさす初日影 熊本の町の	
故里の山 思出の川えがき出す。病院の真白きかべに	空に消えゆく	そううとつんとす 世の中はかなしきことの多かりき 勝清鳥は	予言もようなり うたうたうなり にくまれてさげすまれても空かけり	故里の山 数里の山	われも忘れじ十四子の顔を	みにくしと思う物言うわれを	看護婦もあり娘にしたき娘にこ年目の春迎えたり	なる里は語るに安し野に山に 草木に水に 石に声あり そのかみの檜垣武蔵がおろがみし ぼさつは今も	

冷き床の上 氷の如き 死の床は身をさいなむる苦しみと

> 幾山河とばんとすれどあはれにも ふる里の山

見ずなりにけり

四〇九:三

吾なれにしを たかぶりおごる 故里に深くわびたる永年を

46

ふる里の山にかえって勝清は

鳥になりけり 勝清鳥に

四〇・九・二

唯山河を 何ごとも成さずすみけり勝清鳥は

とぶばかり

吾が奥つ城もようやくに帰りきにけり故里のようやくに帰りきにけり故里の はやそこにあり

"明治維新

壊滅寸前の仏教を救った僧侶 「黙雷」③

冨永和信

本山・本願寺の大改革に走る

国からの開国圧力や禁教とされてきた 戸時代末期の我が国は、 欧米諸

> るなど難題山積であった。 キリスト教の敷衍拡大の恐れが出てく

篤胤を始めとする国学論者による「国 本居宣長の流れを汲む平田

> が台頭してきた。 とする学説から端を発し、「仏教は国 家にとって無益である」という思想論 家神道」こそ、国家護持の基本となす。

政教の基本とする方針を打ち出した。 と進展してゆく。明治政府は国家統 てのものの考えが文明開化・近代化へ 「神仏分離令」を発し、神道を国の 一の国体護持を確かなものにするため このようなことから全国津々浦々ま 時あたかも明治維新の世となり、全

嵐が吹き荒れた。仏僧の中にはこの社 を求める始末で、仏教界は未曾有の 会風潮に何ら抗することもなく、 で排仏思想、具体的には廃仏毀釈の 危機に晒されるという状況であった。 つさえ法衣を脱ぎ、 神官のもとに庇護

僧』と後世呼ばれることになる。 若僧こそ、仏教界の危機を救った である。黙雷を筆頭にしたこの四人の 覚法寺の大洲鉄然、徳山・徳応寺の 赤松蓮城、 長州の真宗僧・島地黙雷、周防大島・ 立ち上がった。その中心となったのが この難局打破に、心ある若き僧侶が 富田・善宗寺の香川葆晃

に身を投ずるか、 本山・本願寺の改革に、 さらに長男が誕生したばかりである。 全うするか。結局、黙雷は難事を選び、 始まる。妙誓寺住職に就いたばかり、 これに先だって黙雷の最初の苦悩が 末寺住職として職を 仏教界再建

> 託すこととした。他方、妙誓寺の宗 妻子と離別し、宇部善福寺に二人を 務は、生家・専照寺住職の実兄円隋 に依頼することで落ちついた。

ている。 働いて下さい」と言ったという話が残っ で、どうか独り身になって思う存分に 子どもはとても一緒について行けないの 一説には、妻コズエのほうが「私と

芸)が西本願寺を通じて応援してお 寺攻撃の際にも毛利藩(当時広島安 が、黙雷はその昔、信長の石山本願 ような直訴建議など不可能であった で法主面会を求め、直訴の決行で本 寺総代としての公式添書を持って、「本 係を持っていたので、その縁故を利用 山改革の建議に成功した。当時、か 願寺法主のご安否伺い」という名目 黙雷らは、まず防長二州の真宗末 明治維新に至るまで両者は深い関

して成功したのである。

役職で明治政府と渡り合うことになっ 参政に抜擢され、仏教界を代表する たのみならず、法主のもとで改革案作 明治三年 (一八七〇) には、本願寺 成とその実行まで携わることになる。 さらにこの建議が認められ採用され

の過去の悪しき習慣、硬直した制度、 改革の目途がたった。 風儀、人事、財政など全般にわたる 黙雷らの無尽の努力の結果、本山

策に挑むことである。 次に課せられた課題は途方もない障 すなわち維新政府の排仏宗教政

る闘いが全開するのであるが、この時 期を仏教界では、 している。 これから黙雷の新政府相手の壮絶な 「黙雷の時代」と称

【とみなが・かずのぶ/山口市】

砂時計 思い出るままに⑥

小野武己

[Ⅳ] 母のこと

①犬棒かるた

術大学校の裁縫科を出ていた。 たといい、その乳母と一緒に生活しながら東京の女子美 れた。裕福だったが両親が忙しいので母は乳母に育てられ 号を「佐直」という呉服屋兼味噌醤油問屋の次女に産ま 明治42(1909)年に福島県の飯坂町の、屋

業し昭和26年、初代の九州電力社長になった。長兄が商 家を継いだのだが戦後はもう、店は衰退していた。 母の2番目の兄は佐藤篤二郎といい、東大工学部を卒

昭和14年に大陸侵攻の名の下に勇躍上海に移り住んで、 母は一級建築士の父と結婚し、姉二人兄一人をもうけ、 昭和16 (1941) 年に僕が生まれた。

> もあったという。 とであった。建築業だから当然かもしれないが、自動車 から連れて行った女中頭に見守られながら育ったというこ 当は防火用水だったみたい)で水遊びしたという。日本 滑り台で遊び、夏は屋上にあった三畳くらいのプール(本 アノを弾き、小さい僕達は座敷の鴨居のブランコに揺られ、 ようだ。レンガ造りの三階建ての家に住み、姉たちはピ 上海では、それはそれはとてもリッチな生活をしていた

来ては、 という。家に遊びに来ていた東北出身の学徒兵の会があ 沢山貼ってあり、当時を語る母はとても感慨深げであった。 腰に下げた兵隊さんが、兄や姉を抱っこしている写真が に立って白いマフラーを首に巻いた若き航空兵や、軍刀を は10人程だとのことだった。 古いアルバムに、 飛行機の横 あの学徒動員の若き航空兵たちが休暇のたびに遊びに 4数人の名簿中の殆どが特攻隊で戦死し、健在なの 母のことを「上海のお母さん」と呼び慕っていた

ぎ先の相浦町に身を寄せ、ギンシャリのお握りの嫌な思い 年半ほど暮らしたが、その時は実家はすでに没落してい を経験し、次に母の実家である福島県の飯坂町の家に一 敗戦後、日本に引き揚げて来て、 父のすぐ下の妹の嫁

まれた。 らい思い出を語ってくれたが、僕は雪の「かまくら」の楽 風景をのみ残していた。姉と兄は買い出しに明け暮れたつ 洞窟の左右に、でっかい木の樽が幽霊の如くに並んでいる がれた白壁の土蔵と、家の裏にあったヒンヤリとした暗い しい印象が脳裏に焼き付いている。 その飯坂町で弟が生 かっての商家の名残の間口ばかり広い大きな家と、は

になった叔父に呼ばれて、博多に移り住んだのだった。 最終的に、佐世保に落ち着いたのは、 その後、あまりの窮乏生活を見るに見かねた九電社長 僕が小学2年生

た。大学の栽縫科を出た母。芸は身を助けると言うが、 の前に座って、針をシャカシャカと動かし仕立物をしてい が家の家計は苦しかった。 母は、 いつも長い和裁の裁ち台 の時で、昭和25年のことだった。 父は佐世保の建築会社で働いていたのだが、何故か我

なり肉となったのだろうし、学費に変身したのだった。

母の仕立てた2千5百着の着物が5人の子供たちの血と

その裁ち台の端っこにちょこんと座ると、その日の宿題を するのだった。 僕は学校から帰ってくるといつも、母と斜め向かいに、

> 手を盛んに動かしながら言う。 まだ、博多弁が時々出る。母は縫い物から目を離さず 「お母さん、犬棒かるたば、教えてくんしゃい」

「どこが、 判らんと?」

「おいが、順じゅんに言うけん、良かね」

い、ろ、は…順番に言うと、次々答えてくれるのだった。

*論より証拠 *犬も歩けば棒に当たる

*花よりダンゴ

りダンゴの方が良かあ」 母はシャカシャカと相変わらずお針の手を休めない。 「ふーん、そがんね、俺いも、本当なこと言えば、

唾液腺は正直だ。 じわーっと 唾が口の中ににじんでく

*憎まれっ子、 世にはばかる

るおじさんの事ば言うとやろ」 母は思い出し笑いしながら、大きな声で言う。週に2 「あーあ、 「こん事は、ほら、 あの刺青のおじさんのことねぇ」 松の湯に来る、 背中に絵の描いてあ

刺青のおじさんに怒

~3回行く銭湯で泳いでいた僕が、

「ほ…は?」

*仏の顔も三度

へ…は、さつまいもに、へ、やろか」

母はケラケラ笑いながらも縫い物から目を離さない。 「それは、下手の横好きって言うんよ」

「ふうーん、そがん言うとね」

僕はすぐさま鉛筆走らせる。

んな野球の下手ばってん、 勉強よっか、 野球ば好いとらす 「お母さん、先輩のゴンさんば、知っとうやろ。ゴンさ

とたい。そがんことば言うとやろか」

草を吸うとる白髪のおじさんの横から、桂馬ばこがん動 あがんおじさんのことば言うとやろか」 「俺いとヤスオくんが将棋をしとると、 飛車ばここにもってこんかって、うるさかとばい。 あん、パイプ煙

母はすかさず答えてくれる。 「ターちゃん、それはね、下手の横やりって言うのよ」

50

*塵も積もれば山となる。

それを見計らったように母の言い付けがきた。 どうやら、宿題は一段落だ。 「よかばい、宿題の終わったけんね」 「ターちゃん、糸に針を10本ばかり通しておいて…」

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

と涙を流している母の姿を見て、いかん、悪いことしたば あると、我が出てしまったりして、バリバリと障子や襖にたようで嬉しいのだが時折、自分の意にそぐわない事が 分の不始末の繕いをすることしばしばであった。 い、と思い直し、こっそりと、ご飯粒を口に含んできて自 を叶えてやれない辛さと無力さを悲しむように、つつーっ 爪を立ててしまうことがあった。 母親として、 子供の希望 僕はすぐさま、糸を舐めなめ、 母に用事を言いつかるのが、自分の存在が認められ 10本の針を通してしま

糸をくるくると3~4回巻き付けて左手の親指で固定し、 ている。そして、 を髪の毛に2~3回擦りつけ、 い物を進め、 時折指でシューッと縫いしろの布地を伸ばし 母は捩れた糸を両方の親指の爪でピキピキと弾き、針 ひとしきり縫い進めた後、 両手でしゃかしゃかと縫

うちに母は、両手をうーんとばかりに上方に伸ばしなが に出てくる小さな和ハサミでぷつんと糸を切る。 無意識の 糸をスーッと引っ張り、糸止めをすると、舌切りすずめ の肩を叩く。母はひどい肩凝り症だ。 ら背伸びをし、トントンと右手で左肩を叩き、左手で右

「お母さん、 肩叩きばしてやっけん」

僕はここぞとばかりに親孝行する。

「そうかい、ありがとね。お願いね」

僕は母の後ろに回るとトントンを始める。

「ああ、気持ちの良かぁ」

てきたのだった。 が、おねだりのチャンスと思ってしまった僕は悪い癖が出 ひとしきり肩叩きを続けたのだが、子供ごころにここ

「お母さん…、俺いは、野球の上手かと知っとうやろ」

「軟式の硬かボールになったけん」

「手の痛かったい、素手では無理たい…ね」

「グローブば、 持ってなかとは、 俺いとヤスオくんだけ

たいね」

「ねぇ、 お母さん、 グローブば…」

饒舌になる僕だったが、タントンタントンは休め

あら…お母さん、スースーと気持ち良さそう…。 返事無し…。 コソーッと右の肩越しに母を覗き込むと、

いるのかな、との複雑な思いが胸を膨らせてしまったのだ えてやれない辛さなのかなぁ、肩叩き有難うね、と言って なんだか、お母さんを苦しめたのかなぁ、僕の思いを叶 チェンジして、腕が痺れてきたのを我慢して続けたのだが、 言えなくなって、あとは、ゆっくり、ゆっくりと肩揉みに の跡がキラリとしているのを見てしまった僕は、もう何も だけど、お母さんの、両の目頭から、鼻筋にかけて涙

社会の勉強を始めたのだった。 物の蛍光灯のスタンドを灯すと、 の僕の無指定席に座り、九電社長の叔父さんに貰った宝 ソーッと母の背中を離れて、僕の指定席の押入れの上の段 僕も鼻筋のあたりに冷たさを感じてきたのだった。 「お母さん、ご免ばい。俺い、我慢すっけん 日本地図を広げ苦手な

【おの・たけみ/小児科医院院長、 宮崎市大塚町】

(16)

52

宗運の突然放った鉄砲に驚かされた。 みぞれ混じりの深い霧に包まれ静かだった響野原は、 甲斐

敵襲にござります!」

浦介が、 た。宗運とは進軍の直前にも密使を交わして、打ち合わせど は怒号飛び交う修羅場と化した。それはまさかの襲撃であっ おりに事を運ぶつもりであったからだ。三浦介は、 走り寄って来た。銃声は続けざまに響き弓矢は放たれ、辺り 時に宗運の千人もの兵士が北西と北東の二方から唸りながら 響いた。 三浦介は振り返ると大きな声で知らせた。 それと同 陣幕から出て深い霧の奥から周りの様子を見ていた蓑田三 幕を開けて中に入ろうとしたちょうどその時銃声が

ての攻撃との情報を得ていた。ところが薩摩の軍勢はひとり た。しかし目の前に陣を取る相良軍はやはり薩軍と通じあっ もいない。これなら確実に勝てる、 宗運もこの場に来るまで相良軍の寝返りはないと信じてい 「おのれ宗運め、あれほど事前に打ち合わせておいたのに」 と遂に戦いを決めたので

> 阿蘇氏攻撃を命じられ、「響野原の戦い」となった。 【前回までのあらすじ】相良義陽と阿蘇氏家臣の甲斐宗運は もともと非常に良好な関係であったが、 義陽が島津に降ると

あった。 中堅を割いた。三浦介は、 甲斐軍は旗や幟、 そして白鷺の馬標を立て義陽軍の

輩も陣幕を出て果敢に戦ったが、全て討ち取られてしまった。 みえた。東刑部、松木壱岐、高橋内膳、桑原紀伊などの老 頼りない足軽や老兵では防戦も出来ず敗戦いよいよ明らかに 幕で囲まれた相良の本陣では光明寺の僧や残った家臣たち 相良軍は不意を衝かれ、甲冑を着ける間もなく応戦したが、 「こうなっては致し方ない。皆の者、ひるむではないぞ」

まする。 と進言したが、義陽公は聞かなかった。公は腹を決めてい 「殿、この場所での戦いは我らまったくもって不利にござい 一旦娑婆峠まで後退して勝負を決するほうが」

たのだった。

れまで、ここを死に場所とするしかあるまい。 運殿には我が本意は伝わらなかったようじゃのう。 すなど出来ようものか。 宗運殿を信じたのはこの余じゃ。 宗 「これだけの兵が討たれているのに余だけがこの場を逃げ出 もはやこ

で戦うしかなかった。 めたが、馬の殆どが戦いの間に逃げ出しており、 すでに陣幕の周りでは罵声と悲鳴が迫り、三浦介は外を眺 昼を前に、霧に覆われた響野原は戦場と化していた。 高津賀上野介、蓑田筑前は床几に腰 もはやここ

倒したが、矢はすぐに底をついた。つ る敵兵を槍で次々に倒し応戦した。 たちに激を飛ばし、自らも襲いかか ある味方の態勢を立て直そうと兵士 連れ陣幕の外に出た。そして崩れつつ と、その場にいた数名の側近を引き かけたままの殿に片膝をつき一礼する ととなった。 続けざまに矢を放ち、 修験道の園田教音らは敵方にめがけ いには皆が抜刀し敵兵と激突するこ かなりの兵を

相良清兵衛(犬童頼兄・軍七)=相良家 家老

甲斐宗運 (親直) = 阿蘇氏の家臣

=相良家 第 18 代当主

東筑前、 陽公と三浦介、他に数人の小姓だけになっていた。 果てた。すでに相良軍には勝ち目はなかった。陣幕の中は義 りも陣幕を出て敵軍に攻め入ったが、いずれも討ち取られて 村山飛騨、恒松美濃など、義陽公の周りの二十四人衆の残 も敵を迎えうち奮戦したが、相次いで討ち死にしていった。 破れた陣幕の外で甲斐軍と戦う義陽公身辺の諸士はそれで 同越後、同周防、高橋志摩、豊永備前、右田若狭、

「殿、今生のお別れになるやもしれませぬ」

礼をした。これに義陽もうなずいて、 **養田三浦介は義陽の前に片膝を付き、頭を深々と下げて**

まで大義であったのう」 運殿も又この先同じ道を歩まねばなるまいて。三浦介、 「われらは無念にもここで果てることになるであろうが、宗 これ

殿、 拙者謹んで来世への先導をつかまつりまする」

る暇さえ与えなかった。 すると三浦介は太刀を大きく振りか ぎ、短刀で真一文字に腹をかき切った。義陽公がそれを制す 義陽公と三浦介の後ろにいた本間筑後がもろ肌を脱

筑後の首めがけて刀を振り下ろした。 「本間殿、 ご助勢致す」

おったか」 「うーむ、 見事本懐を遂げたが、 余のために命を無駄にし

義陽公は腰に差していた脇差しを鞘ごと抜き出すと、 すか

「殿、御介錯つかまつります」

と三浦介は義陽の横ににじり寄った。

し宝刀、 「待て、 そちが持っておれ」 余は戦つて果てる覚悟じゃ。これは先代より預かり

脇差しには鞘と柄に相良家の梅鉢の家紋があしらわれてい

敵方に奪われてしまいまする」 「あいやしばらく、それではまさかの折りには殿の御首が

「いや構わぬ三浦介。ここ響野原を我が死に場所といたす」

わず、これが最善の道じゃろうて」 「甲斐との盟約を守れず、はたまた島津殿に反する事も叶

誠に無念に御座りまする……」

れを腰に差しまた深々とお辞儀した。 三浦介は両手を差し出しその脇差しを丁重にいただくとそ

54

と その時数名の敵兵が本陣になだれ込むように入って来

ろあたりに槍を突き刺した。三浦介の首から大量の鮮血が吹 からはかなりの出血だった。 三浦介も追い詰められ、何ケ所も切り付けれられ、その手傷 たちはすぐに次々と倒されていった。さらに敵兵が詰め寄り 敵兵と刀を交えた。三浦介は数名の兵を切り殺したが小姓 三浦介と数人の小姓たちは義陽をかばうように取り囲み、 足軽が隙をみて三浦介の首の後

「と・の・ぉ……」

ので悲鳴をあげて倒れた。 義陽が右手に持った槍を投げつけた。 槍は兵の背中を貫いた 浦介に馬乗りになって首を取ろうとしたが、その兵めがけて そばにいた敵兵が三浦介を刀で突き刺し、 地面に倒れた三

ままであった。 義陽の正面には若い侍が構えていた。 義陽は床几に掛けた

太郎左衛門、どうか御立会いを」 「相良義陽殿とお見受けいたす。 拙者甲斐宗運が家臣野本

宗運殿には伝わらなかったようじゃ。もはやこれまで。 首は宗運殿に差し上げようぞ」 運殿には伝わらなかったようじゃ。もはやこれまで。この「宗運殿とは誓紙を交わしておったが、この度は余の思いが

右手に持ちかえると、両ひざに手を乗せ頭を下げた。 床几に腰を下ろしたままの義陽は左手に持っていた軍配を

野本太郎左衛門は一瞬ためらったが、

嗚咽が聞こえた。そして体を震わせ訳のわからない大声を張 り上げた。 門の顔にもかかった。その瞬間、太郎左衛門の動きが止まり 陽の首からは大量の血が一気に噴き出し、その血は太郎左衛 と声をかけると義陽公の首をめがけ刀を振り下ろした。 義

と、後ろにいた緒方喜蔵が、

りなされ」 「野本殿、 しっかりなされよ。今こそ相良の大将首をお取

と太郎左衛門の腰に手を添え即したが

「首が取りたくればお主が取れ。くれぐれも丁重にな」

骸と太刀に深々と頭を下げた。 と言うと義陽の腰から太刀を抜いて両手で持って掲げ、

緒方喜蔵はなにも言わず義陽公の首を取り、 宗運のいる陣

> 羽織など、奪えるもの全てを持ち去って行った。 営に運んだ。周りにいた雑兵たちは義陽公の鎧兜や軍扇、 陣

ちに響野原にお返しいたせ」 しかじゃな。よいか、義陽殿と他の者の首は丁重に扱い、 と討たれるとは。こうなればわが甲斐家もあと三年あるかな 甲斐宗運は相良義陽公の首を検じ、手を合わせ涙して、 「誠に無念な事よ。あの誉れ高き義陽殿がまさかこう易々 直

戦闘を進めた。不利になった甲佐軍率いる田代宗伝は全軍を 撤退させ始めた。その時早馬が響野原に敵軍現ると伝えてき 路を妨害にかかった。すぐに両軍入り乱れての戦いになった の軍がその中央で待ち伏せをして、本隊のいる響野原への進 野原の本隊と合流すべく撤退を始めていた。そのとき、甲斐 一方、堅志田と甲佐を焼き討ちにした東左京進の軍は、響 左京進は残った兵を直ちに響野原へ向かわせた。 五百余りの精鋭部隊の相良軍は八百の敵を相手に優勢に

ぎ取られた死骸の横にあった大石の上に紙を敷いて置かれて が着いた時にはすでに首検分が済み、 響野原の戦闘は半刻あまりで決着が付いており、東左京進 義陽公の首は鎧兜を剥

れた諸将の首も殆どがその地に戻されていた。 いた。周りには引き裂かれた陣幕や旗が飛散していた。 捕ら

くつく なんというお姿に。南無…」

左京進の嗚咽が聞こえ、さらに続けた。

かって深々と頭を下げ手を合わせると、 相良に攻め込むとは。皆の者、これからは殿の弔い合戦じゃ」 すぐ後ろにひざまづいた竹下兵部左衛門は義陽公の首に向 「おのれ宗運め、あれほど事前に打ち合わせておいたのに

島津の謀と気付きおったのであろうか。 …。見事に討ち死になされたとは」 「殿の御首をここに戻したということは、 おいたわしや、 宗運め、 やはり 殿

破れ果てた陣幕のそばにあった。 無数の傷跡が残り無残な姿になった蓑田三浦介の亡き骸も

て手を合わせると、 左京進は首を取られて変わり果てた三浦介の遺骸に向かっ

あったろうな。お主一人逝かせはせぬぞ。この上は宗運の首 めがけ弔い合戦ぞ。皆の者、御船へ突進じゃあ 「殿のお傍におりながら守り切れなかったのはさぞや無念で

は数こそいるが老兵や足軽ばかりを連れて、本腰を入れて戦 しかしこの行動を甲斐宗運は予期していた。相良義陽の隊

> 手前の窪地に兵を配備し攻撃に備えた。 斐一族を守るためにも応戦せねばならなかった。 宗運は城の 必ずや御船を攻めるであろうことを。 も居なかったので、誓紙を守り死んでいった義陽公の軍勢は うつもりではなかった事を知り、さらに周りにひとりの薩兵 しかし今となっては甲

> > 56

てきていることを告げた。 しばらくすると物見のものが響野原方面から相良軍が攻め

進むと遂に馬から落ちた。 なく敵の放った銃弾が刑部の胸を射止め、 斬りかかって行った。 兵をなぎ倒しながら斬り進んだが間も した隙に、 先頭を行く東左京進の馬が泥に足を取られて速度を落と 天草刑部大輔が敵陣に真っ先に乗り込み、敵兵に それでも数歩前に

甲斐宗運の馬にめがけ突進して行った。 左京進は槍を振り回しながら兵を斬り進み、 敵の大将、

「甲斐宗運殿とお見受けいたす。 殿の敵討ちにござる」 拙者相良家家臣、 東左京

る左京進の勢いに押され馬もじりじりと後退した。それを取 度も刀を振るった。 それでも宗運は防戦したが、 若さあふれ として対抗した。 すぐさま刀を抜いた左京進は宗運めがけ何 言うと同時に槍を突いたが、宗運も太刀で槍先を切り落

かざして奮闘したが八方を敵に囲まれ、槍で串刺しにされ突 軍は次々に討ち取られて行き、左京進も馬を降り刀を振り 更に敵軍も加わり宗運と左京進の周りは大乱戦となった。し へ西駿河、犬童美濃らが参戦し槍で突き左京進を援護した。 り巻いていた敵兵が前後から左京進めがけ槍で突いた。そこ き上げられての最期となった。宗運の従兵が、 かし多勢に無勢、そのうちに西駿河や犬童美濃など相良の

お怪我はございませぬか」

)流石は相良の家臣、危うく討たれるところであったわ」 、残らず討ち取られてしまったのであった。 相良軍も大いに奮闘し多くの甲斐軍を倒したが、遂には一 「おお、 鎧を少しばかり斬られたが儂は何ともない。しか

十二月二日の出来事だった。 水俣城が落城して二ヵ月余り、天正九(一五八一)

を任され、 その役回りは相良がつねに先鋒であった。また、筑後や大友 攻めなど、 その後は龍造寺、堅志田、高森攻めを島津に命じられ 乱世を戦い抜く事となる。 それからの凡そ八年間は、 島津の先鋒やしんがり

【やまぐち・けいじ) つづく **人吉市**



考古学はドラマだ。 動静を記録した白熱のドキュメント

57

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

繰り広げられた考古学者たちの

28)

絵と文/原田 正史

人吉城地下遺構の謎

即ち謎がいくつも存在しました。 復元の当初から理解に苦し様な事実、 人吉城地下遺構については、 発掘

というのであれば鈍感というほか無い を見学された多くの人たちが、二ヶ所 ど無いはずです。実際、地下室遺構 所に設けられているのか、 ということ 出入り口を見て違和感を抱かれた その一つは、どうして出入り口が二ケ わざわざ二ヶ所に設ける必要な 私たちの常識的な感覚からす 出入り口は一ヶ所で済むはずで 別に何とも思わなかった

> 思われます。 係には精通されていても、 ませんでした。多分、キリスト教関 ついての知識はお持ちでは無かったと が、二人の外国人神父様も気付かれ でしょう。これは鈍感とは別なのです 他の宗教に

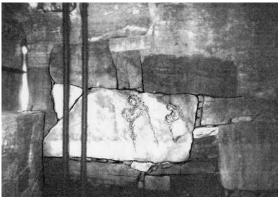
たちが、キリスト教の洗礼池を伴う 復元から二十年後に当たる平成三十 ところがその本当の理由は、 実際には相良隠れキリシタンの人 ユダヤ教では、 発 掘 •

> 必要となるのです。キリスト教には、 出入り口は通常一つなのです。 このような考え方は無く、 れるとされており、 同じ出入り口から外へ出ると、再び汚 二つの出入り口が 洗礼池の

> > 58

与えてくれたこの貴重な歴史的・文 場所であることが明らかとなりまし つ必要なのかと言うことです。 洗礼池 十分活用すべきであると思われます。 に努め、今後の観光や文化面などに 化的遺産に対して、その周知・広報 諸国をはじめとするアジア東部に於い 正面に置かれた薄い平板状の石垣石 くマリア陰影像が何故、同じ場所に二 この事実によって、人吉城地下遺 次に問題となるのが、 地元としては、先祖の人たちが ユダヤ教構造物が存在する唯一の 斜光によって陰影像が出現する 国内は言うまでも無く、 キリストを抱

洗礼池で体を洗い清めたとしても、 造物であることが明らかとなり、完全 に対する加工技術の見事さは、 用してきたのでしょうが、 真実はキリ 地下構造物と信じて永年にわたって使 に決着を見たのです。 スト教構造物ではなく、ユダヤ教構 現代



肉眼で見えるキリストを抱くマリア陰影像(加筆表現)

人には予想も出来ないほどのものだっ

鑿などでの加工跡は全く見当

平滑な石面がゆるやかに波

この部分の石面に近づいて見

思われていました。ところが陰影像が ま残ることでしょう。 話が横道にそれ 必要があり、 ころ陰影像を意識した相良清兵衛が 的で置かれた円磨礫なのか、 石垣石とは全く違う円磨礫、 る石に目をやった私は、それが通常の 出現する平板状の石の下に置かれてい **う一つだけ存在します。その他の石垣** ましたが、 と思います。 死後、神の御許で永遠の眠りにつくべ 謎が加わったことになります。 石であることに気付きました。 何の目 石はすべて厚みのあるものばかりだと く自分の墓石を置かせたのではないか この様な薄い平板状の石垣石は、も 本題に戻ることにします。 確認には石を抜き取る 当分の間、 未解決のま 新たな 今のと 即ち川

> のです。 於いて、 造物が発見されない限り、 として、優れた石工が二人いて、 のでした。ところが、 考えましたが、 筈もありません。その他、いろいろと の核心とも言える重要な作業に際し を競ったのかと思いましたが、構造物 可能だと思う様になり、現在に至った その様なふざけたことが出来る 国外に同様の陰影像を持つ構 思いがけない現実に遭遇した 陰影像が二つ存在する理由 適当な理由が見つか ここ倉敷の地に 解決は不

えます。

江戸時代後期における石材

眼では認められない特殊な技法によっ

打ち続くだけです。従って陰影像は肉

て石面に加工がなされているのだと言

今から考えると以前から、 についてお話した事に始まるのです。 る倉敷市亀山の老人介護施設「オリー に地質分野に大変関心があり、 さんに、 ブ・ガーデン」の職員である野口倫子 それは私がデイサービスを受けてい 何気なく二つの陰影像の存在 理科 家の

くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

から、 事が書かれている文献を持っています ら驚くべき発言がありました。それは のも知れません。その時に野口さんか が頭に残っており、二つの陰影像につ なと思ったことがありました。この事 近くで拾われた川石を持参され、 した。 いて話そうと思ったきっかけになった た事があり、 に岩石名や特徴などについて尋ねられ トがいたという説があるのです。この キリスト教には、 お見せしましょう」とのことで 好奇心旺盛な方なんだ 二人のキリス

というもので、 ラリェヴェク生まれの神秘思想家です。 によると、 西川隆範訳とされていました。解説 持参された文献は、『第五福音書』 (Rudolf Steiner 一八六一年~ 著者ルドルフ・シュタイ は旧ユーゴスラビアのク R・シュタイナー著、

> は実に刺激的な出来事でした。 平成三十一年初頭、ここ倉敷市亀山 掘・復元より実に二十一年目となる 当然のことであり、この事によって発 ていました。人吉城地下遺構の設計 タン系のイエスの二人が居たと書かれ ました。問題の箇所は六十七頁であ き明かされたのですから、私にとって に於いて解決不能と諦めていた謎が解 り、そこにはソロモン系のイエスとナ そこで、 大変読みづらく頭が痛くなります。 から、この分野に疎い私にとっては、 トを抱くマリア像が二つ描かれるのは この文献は、宗教関係の書物です 、この説に従って作製されたとす 洗礼池正面の壁面に、キリス 関連する部分を拾い読みし

たりにして、 に於いて、 私は先年、このオリーブ・ガーデン 奇跡的な出来事を目の当 これを、オリーブ・ガー

> あり、 栄光を讃え、 源となった訳であり、 のなのです。いずれにしても、オリー 無いだろうと思っていました。ところ 念する次第です。 りと言わねばなりません。ここにその 存在するのでは、とさえ思える程のも が今回の解明も、 はこの様な奇跡は二度と起きる事は 月号)で紹介しています。その時、 詳細を本誌の二十二号(二〇一八年一 ブ・ガーデンは、二度の奇跡の発牛 デンの奇跡にと名付け、 そこには人智を越えた何かが 更なる発展を心より祈 正に奇跡そのもので 誠に喜ばしい限 その出来事の

遙かなる肥後人吉の謎を解く 倉敷亀山奇し里なり

質学会会員、 【はらだ・まさふみ/日本地 倉敷市】

鶺鴒短歌会 三月詠草

春光る風と香りの音がする胸たかなり来春の訪れ 風雪の寒さしのいだ冬鳥は春風さそい北の国へと

守永

和久

河内

碧海の入り日を見むと軒先にてるてる坊主を三つ吊るしぬ 初午に奉納せむと朱の布に心を込めて「福」の墨書を

初咲きの梅の枝切りて玄関に飾りておれば朗報届く バスを待つ若者たちはスマホ手に話す人なく我もスマホを

中村美喜子

待望の新元号興味湧く詮索楽し八十路の我は 元号は如何なるものになりたるや平成時代をひも解きおりぬ

西 武喜

> 誕生日祝ってくれた夫もなく酒を供えて一人で乾杯 散歩道すみれタンポポ咲き乱れ私も何時しか唱歌を口に

釜田

操

里山をわがもの顔でのし歩く猿軍団に恐怖をおぼゆ 大学の合格知らす父は亡く十三年の歳月哀し

散歩みち猿と出逢いて睨めっこ負けてなるかとぐっと見返す 夫と犬共に亡くして空しきは趣味の編み物時を過さむ

三原 光代

上空を悠然と舞ふクマタカの声広がりて球磨川に消ゆ 川面澄み流れの石に立つ鳥は魚影待ち居て石造のごと

橋詰 了一

遥かなる時空の彼方に「無」が来ると宇宙理論に神も「無」なるか 「底の小石までもがきらきらと春の小川はサラサラ流る

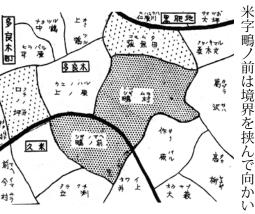
堀田 英雄

字図で見る球磨の地名② 上 村重 次

鴫村と鴫ノ前 (シギムラとシギノマへ)

多良木町

米字鴫ノ 多良木町多良木字鴫村と同町久



鴫ノ前は口ノ坪とも接し、 村との境)が口ノ坪である。 上ノ原(ウエノハル)を隔てて字口 が境界地名らしいことがうかがわれ り付近のこと。ムラ区域の始まり(隣 合う小字である。 ノ坪(クチノツボ)で通称黒肥地通 鴫村の西方は字 鴫地名 久米字

ギ)、一に田鳥と云」とある。 げ)きことにちなんでシゲと呼ばれ、 製漢字で『和名抄』には「之木(シ シギになったという(『大言海』)。 鴫という字は田と鳥を合わせた和 し、水田に群がる。 鳥類のシギは渡る鳥で秋に飛来 その羽音が繁(し

名は九件であるが、 『日本地名索引』で見ると、 熊本県の町村 鴫地

> 9年にかけて執筆されたものの復刻版 【おことわり】本連載は平成6年から 合併前の町村名をそのまま使用

町島木▽舞鴫(モモシギ)=下益城 タシギムレ) =阿蘇郡波野村新波野 木▽鴫ノ前 (シギムラ) =球磨郡多良木町多良 ワシギ)=同郡五和町二江▽郷鴫(ゴ 郡小川町東海東▽小武鴫(コフシギ) 早川▽舞鴫(マフシギ)=同郡矢部 山(シギヤマ) ▽合鴫(ゴウシギ)=同村波野▽鴫 重味▽鴫群 小字では次の十三件が検出された。 天草郡苓北町坂瀬川▽河鴫(カ 同郡豊野村上郷▽川鴫(カワシギ) ▽鴫ノ鼻 =同郡有明町大島子>鴫村 (シギノハナ) =菊池市 (シギムレ)・北鴫群 (シギノマへ) =上益城郡甲佐町上 7

とから、 地名の用字では合敷、 発音に共通性がある。 群は鴫村と同義、 /前や鴫ノ鼻と近似する。 また合 川鴫・河鴫・小武鴫・郷鴫は 鴫は敷の借字の疑いが濃厚 字名の鴫地名のうち、 舞鴫は前鴫で鴫 郷敷が多いこ 他のゴウシキ

とするのは強弁過ぎるようである ないのは常識である。 んだのに、 前述のチシキハルでは敷をフと読 地名・人名の字訓に定まりが 鴫に当てられた敷をシキ

通じる語とも考えられよう。 原点としては土地区域の仕切りに 意味であるが、この場合は敷地、 問題は鴫に変化する前の〝敷〟 敷居などの "敷、を想定する。 屋 O

は鴫地名について、 『地名の語源』(鏡味完二・明克) ①茂み②一定の

> 字で見る限り、②の一定の区画地と の転一をあげているが、 区画地③砂礫地④新羅(シラギ) いう説明がうなずけるようである。 熊本県内小

ともなった敷島は州処地(すかち) 地とし、奈良県の磯城島(シキシマ) 志木市の項ではシキは新羅人渡来 の意」とする。 の項では「大和の枕詞、 は敬って遠ざかるしかあるまい。 『日本地名ルーツ辞典』は埼玉県 これらの鴫地名解釈 日本の別号

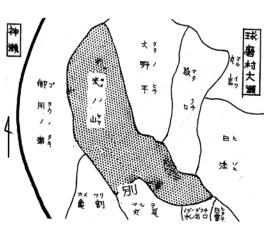
(コメノヤマ

球磨村大瀬

名が米そのものにちなむのか、 字のつく地名も多い。ところが米地 関心が高いのは当然なことで、 えば甚だ怪しい。 米は日本人の主食である。 米ノ山という地名 米への とい 米の

> うにもない。 となると、 穀物の米とは結びつきそ

ヨネ地名はコメ地名の数倍あり、 かない。『日本地名索引』でみると、 メと訓ませる地名が八十二件ある のに対し、ヨネと訓むのは十三件し 、地名は関西に多く、 熊本県内の字名でみると、米をコ ヨネ地名は コ



ない説である。日本の雅称は豊葦原 るのと同じ」とあるが、これは頼り ね)が、死ね、に通じるのを嫌って、吉 ると、「米をヨネというのは稲(し 国であって豊吉原国は聞いたことが し)に通じるために吉(よし)にす (よ)ね、と称したもので、葦が悪(あ 関東・東北に多い。『大言海』によ

が、これは今後の地名研究の成果に て手がかりがつかめるかも知れない ヨネ地名の分布を調べることによっ を忌避しての語ではないとすれば真 梅(め)をムま、ムめと言うのと 期待するところである。 の語源は何であろうか。コメ地名、 同じと解釈できるが、ヨネが死ね の発語が加わったもので、馬(ま)、 米をコメというのは漢音のメにコ

米ノ山をテーマにしながら、コメ・

ヤマは人吉市東間下町字米山の一 瀬字米ノ山、 ヨネにこだわったのは、球磨地区に からである。コメノヤマは球磨村大 はコメノヤマとヨネヤマが混在する 人吉市中神町字米山の三件、 湯前町湯前字米ノ山、 ヨネ

こも境界に関係のある地名とみられ 隣接する。 関連地名であろう。湯前町の米ノ えられるところから、米ノ山も境界 界守護の御霊神にちなむ地名と考 については稿を改めて述べるが、境 に置いて大字神瀬となる。御用ノ瀧 村大瀬の米ノ山は字御用ノ瀧を中 山は字上・下町抗(マチグイ)と (ヨネヤマ) は七地町との境、 →境界抗)のことであろうから、こ 字図を見ると、東間下町の米山 人吉市中神町の米山(コメヤマ) 町抗は区抗(まちぐい 球磨

> リノ)という入会地名と隣接してい は字湯ノ谷(ユノタニ)、字入野(イ 熊本県内のコメ地名八十二件の かつての境界線が想定できる。

ことが考えられる。 ヤマがあるのは、境目の目に米(め) 境界にある。境地にコメヤマ、 993 活)は柏崎市と中頸城郡の で有名な新潟県の米山(ヨネヤマ・ 本郡鹿央町合里字米野山はメノサ るが、球磨地区の例からして殆ど てコメノヤマ、 があてられ、 ンと読み大字岩原との境界。民謡 は境界関連地名と推定される。 うち四十件は米ノ山(米山)であ 地域の読みぐせによっ ヨネヤマと転化した ヨネ

【うえむら・しげじ/宇土市生 元熊本日日新聞社記者】

武井京子

で卒業式、 花粉や蜜を集めている。 色い菜の花が風に揺れていて、時折ブーンと蜜蜂が舞い、 挨拶は「今年の桜、保ちますね」。花冷えと晴天続き 入学式とも桜の花が祝ってくれた。 畑には黄

蜂の姿はなく元の一群だけになってしまった。 になってしまった。 巣箱を開けてみると、 又虫という白 い虫が繁殖していて蜜は食べ尽くされていた。 もちろん 来た。二つ目は秋に蜜を採らなかったので、盛んに活動 ことが出来た。来た一年目から分蜂して二つの巣箱も出 て来た。それから二回の秋が過ぎ、二回とも蜂蜜を採る していたらしく、去年の秋は蜂が飛ばなくなり二、三匹 我が家には熊本地震のすぐ後、日本蜜蜂の一群がやつ

今年二月まで巣箱の前でたくさん飛び交い元気だった 三月になって元気がなくなり、巣箱の底に空の巣や

> るのがとても楽しみだったので残念である。 るくらい花粉をつけて、一生懸命働いている蜂を観察す た。暖かくなれば菜の花やレンゲ草から足が黄色く見え 小さい白い虫が見つかり、これにも又虫がついてしまっ

きているのが分かった。 又虫、 殺虫剤を使われ受難の時代になっている。蜜蜂も殺虫剤、 絶滅危惧種だといわれているが、 に成功し、 今日まで二週間落ちついている。 足さげ蜂も の枝に分蜂蜜蜂がやって来た。うまく巣箱に入れること 三月二十日の気温が高い昼頃、ブンブンと音がして、柿 もう我が家には蜜蜂がいなくなったと思っていた頃、 寄生虫、病気と闘う相手も多いなか、 越冬場所がなくなり、 必死で生

ている私だ。 日も、どこからか分蜂してやって来ないかなと、庭で待っ るが、どのような世話をすればよいのか。それとも自然 ながめたり、 にまかせておけばよいのか、 私の大事なペットというか、楽しみな日本蜜蜂。 外出から帰ってくると見に行ったりしてい なかなか難しいものだ。 朝夕

【たけい・きょうこ/人吉市】

お休みどころ通信

3月16日 (土)

に行動されていた。僕なら少しぐら ずっと子どもたちを楽しませるため たちなことが印象的だった。2日間 園などで子どもたちを遊ばせること りたいと思うが、 いは大人のためのスケジュールも取 になる。僕は初日の夜から参加し 特別な遊びがなくてもお祭り騒ぎ 族で子どもが合計8人になるので、 れで1泊で遊びに来てくれた。3家 美紗さんの同級生2人が家族連 他の2人が子煩悩なパパ 結局最後まで公

> 的に満たされているのだろう。 に終始した。それだけ大人が精神

精神科医

興野康也

が残ったが、

わかったことが1つあ

拒否感がある」ということだ。

独断に基づく

わからない物事への過剰な恐怖心や

それは「偏見のもとには、

3月18日 (月)

あり、この15年であまり偏見と直接 科への理解が進んできている時代で この教えは精神科で働きだしたとき 患者さんを偏見から守ることだ」。 にぶつかるようなことはなかった。 から胸にあった。しかし現代は精神 ところが強い偏見に基づく排除行 「精神科スタッフの第一の仕事は、

動をした教育機関があり、

僕も抗

りにも恐れるために、 極端な排除に走ってしまうことにな

見は減ることになる。特に知識だ 対応法を人々に知ってもらえば、 逆に言えば、精神疾患の特徴や

きにどの程度精神科スタッフに相談 化があれば、 専門家に相談しながら対応する文 だ。結局のところ、 けでなくて具体的な精神科スタッフ してくださるかが鍵を握っている。 の人柄を知ってもらうことが効果的 大きな偏見の発生す 人々が困ったと

発活動にもよく参加しているが、 る余地がない。僕自身は地域での啓 の大事さを改めて感じた。 そ



人吉市の石野公園。クモの巣を登るような遊具で、ユラユラ 揺れるので子どもたちがこわがっていた

3月19日 (火)

ば、こうはならなかったのにと思う 生活全体を見て支援に入る人がいれ 関係・家族関係などが問題になる。 場合と違って、成人の場合は就労・ ことが多い。 ②困ったときに人にSOSを出せ 症の相談を2件受けた。若い成人 自分の得意・不得意をよく知る、 うまく乗りきっていくためには、① 金銭管理・結婚や育児・近隣との と高齢者のケースだった。 子どもの 相良村の「こころの相談」で発達 といったことが大切だ。 早めに

内容が固まってきている。 相良村の中学1年生に授業をし もう5年目になり、 内容は保健師さんや学校の -クはまだ2年目なことも 僕の話は 一方でグ

> 要がある。それはとても難しい」と 手がどうしてほしいのかを見抜く必 ちの考えが深くて、 とおして明らかになった。 接し方がテーマだったが、 論するのをうまく促進してくれた。 グループに入り、 加してくださった病院スタッフが各 のだ。うまくいくのかはわからない 先生とやり取りしながら決まったも いうことが、 りをもって人に接するためには、 下げて考えてくれていた。 ストレス対処や苦しんでいる子への 面があった。休日の時間をさいて参 グループごとの発表を 生徒さんたちが議 感銘を受けた。 中学生た 深く掘り 「思いや

【おきの・やすなり/人吉市】

議の電話をしてやり合うことがあっ

とてもモヤモヤした嫌な気持ち

68

方言を味わう ③

留三郎 世界



前田

われたち、 仕舞うた。 こらこら、 主たち。 お前たち、 もう持肥いにやも大方 、 野人ども、

端に生えている野芝を土ごと剥いで 料のことで、堆肥の一種。土手や川 肩で担いで田に運ぶ作業がモチゲい を縄で括りサスやヤンモコを使い、 には持つて来いの堆肥になる。それ 積み重ねておく。 すると田の肥やし 持肥というのは、 そのモチゲを細かく砕いて初 長持ちのする肥

> ことのできる「カヤ切っ場」などの み込んで肥料にしていた。まさに有 採草地があって、 田を起こした後に撒いていた。 また村にはだれでもが自由に取る その青草を田に踏

どん(下男)」などを呼ぶ時に使わ れていた。 「お前達」以下は主人が「にしゃ 機栽培であったのだ。

四月一日

今日、炉を禦ぐ。苗代アいつごれー

ばい。草うまやの肥どもを入れてお 苗ア倒れていけんばい。 けば、沸きあげていけん。また苗は か。また草ァ入れんがよか。 日か四十日目に直す積で蒔けばよ 踏むかよ。苗床ア五月の中迄三十五 五六寸より長かたアようなか。 灰ども振りちらきゃーて置くがよか 小便と

解説 2

このころから「風炉」と選手交替。 え」で給から裏地を取り去って単衣 に。また茶の湯で使ってきた「炉」も、 桜も満開になる四月一日は「衣替

モミを蒔くようにしたがよい。苗代 わらなどをを踏み込んでおくと、苗 の肥やしには、青草や馬小屋の敷き 月中旬に田植えができるように逆 そしていよいよ農作業も本番 三十五日から四十日前に種子 まずは苗代の準備である。

り散らして肥やしにした方がよい。 を及ぼすので、 が成長している間に発酵して悪影響 過ぎれば倒伏する。 稲苗は五寸から六寸が最適で、 小便や灰などを振

ぎて、また水を入れておく。この塩 そろ入るれば、 野村の浅尾源八郎君の法なり。 撰びが上等なりと、阿蘇南郷久木 水をじき他の桶に移して、水にて潅井れ皆取り上げる。三四歩沈む。塩 れ皆取り上げる。三四歩沈む。 れて混ぜくって、 色々あれども、 六七歩は浮く。 それに上よりそろ 水一斗に塩四升入 ح

解説3

も比重の高い塩水に漬けると、 ミの「塩水選」である。 実の悪いモミは浮かぶので発芽率が 種撰りというのは、いわゆる種モ 真水より 充

> り入れていたのであった。 留三郎はそれより早くこの方法を取 を通じて普及させるのであるが、稲 三十六年に農商務省が全国の農会 ぐんと良くなる。この方法は明治

魂』(熊日新聞社刊)に紹介されて 馴染みの故上村重次さんの労作『農 度の濃度を目安にしていたと、本誌 なくても、生卵が浮き沈みする程 の「字図で見る球磨の地名」でもお ちなみに農家には比重計などが

さ(濡)らかせば、 ろうば、じき担うて来やい。雨にく 刈り口や短こう刈れ、それしもうた うでけたでー、裸麦から刈ろうや。 田麦もでけたばい。大麦も裸麦も良 五月の節ももう五六日になった、 じきィ入れておこうやね。 生ゆ(芽が出)

あった。 出てしまいモノにならない。それで 間雨に濡らしてしまうと、芽がつき 栽培が盛んであり、 稲のとうに「掛け干し」などせずに、 る雨期に差し掛る。そのために数日 麦の粉にする小麦などが作られてき できるだけ早く納屋に運び込むので には生僧の「菜種梅雨」と呼ばれ た。麦の収穫時期、いわゆる「麦秋」 混ぜる裸麦、ここには出ていないが の原料にする大麦、押し潰して米に この地方では、 田の裏作として麦 主に味噌醤油

態であったらしい。 た翌年の明治三十四年の長雨では、 麦の芽が出てしまい収穫は半減の状 この『熊つれづれ咄』が書かれ

【まえだ・かずひろ/人吉市】

俳句大学

Haiku University

Facebook 華文俳句社

と〈取り合わせ〉を取り入れ た Haiku を提案する

我們提倡使用「一個切」和「兩

項對照組合」的二行俳句書寫

世界に二行書きによる〈切れ〉

永田満徳選評・洪郁芬訳

Kabun Haiku **4**

林國亮

伏案寫一字刪一字 春雨

[永田満徳評論]

寫了又擦,擦了又寫的反覆推敲字句。安書いては消し、書いては消しながら文 靜寫字的工作環境環繞著滋潤的春雨, 像是包容般的氛圍正是春天給人的感受。

林國亮

机で文字ひとつ書きひとつ消す

〔永田満徳評〕

章の推敲をしている場面。物書きとい う静かな仕事と、それを包む春雨の しっとりとした雰囲気との取り合わせが 春の気分を醸し出している。

皐月

春雨聲忽大忽小 筆尖的俳句

[永田満徳評論]

作者一邊聽著豐潤的「春雨聲」,一邊用 しっとりとした「春雨の音」を聞きな 心寫俳句。「筆尖的俳句」形容的真巧妙! 筆尖寫出的字句想必都揮灑著盎然的春

皐月

大きくなったり小さくなったりする春雨の音 筆先の俳句

〔永田満徳評〕

がら、句作りに励んでいるのである。「筆 先の俳句」という措辞がよく、「筆先」 から生まれる句はいずれも春の気分が 横溢していることだろう。

微塵



旗袍飄逸池塘 荷花香

[永田満徳評論]

以包裹靈魂般的「荷花香」為裝飾, 穿 梅魂ごと包む「蓮の香」を纏い、チャ 著旗袍的女性輕輕地繞池塘。眼到之處 皆是她嬌豔地步步揮灑春天的氣息。

微塵

池で裾を翻すチャイナドレス 蓮の香

〔永田満徳評〕

イナドレスを着た女性が蓮池を巡って いる情景。歩むたびに、春の気分を 振りまいている女性のあでやかさが目 に浮かぶ句である。

【ながた・みつのり/俳人協会会員、熊本市】

資 料

瀬戸石ダム湖の堆砂量推移

元号	西曆	堆砂量 (千㎡)	堆砂容量に 占める堆砂 量の割合	
H.14	2002	633	82.3	
H.15	2003	600	78.0	
H.16	2004	552	71.8	
H.17	2005	653	84.9	
H.18	2006	647	84.1	
H.19	2007	737	95.8	
H.20	2008	732	95.2	
H.21	2009	858	111.6	
H.22	2010	845	109.9	
H.23	2011	886	115.2	
H.24	2012	1,044	135.8	
H.25	2013	963	125.2	
H.26	2014	993	129.1	
H.27	2015	1,020	132.6	
H.28	2016	1,027	133.6	П
H.29	2017	989	128.6	
H.30	2018	840	109.2	П
堆砂料	字量(千m)	769		





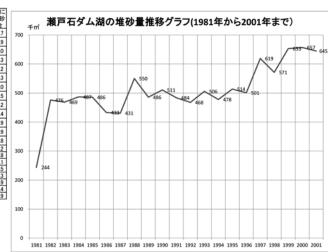


堆積土砂除去作業(2018年)

瀬戸石ダム湖の堆砂量推移

元号	西曆	堆砂量 (千㎡)	堆砂容量に 占める堆砂 量の割合
S.56	1981	244	31.7
S.57	1982	476	61.9
S.58	1983	469	61.0
S.59	1984	487	63.3
S.60	1985	486	63.2
S.61	1986	433	56.3
S.62	1987	431	56.0
S.63	1988	550	71.5
H.1	1989	486	63.2
H.2	1990	511	66.4
H.3	1991	484	62.9
H.4	1992	468	60.9
H.5	1993	506	65.8
H.6	1994	478	62.2
H.7	1995	514	66.8
H.8	1996	501	65.1
H.9	1997	619	80.5
H.10	1998	571	74.3
H.11	1999	653	84.9
H.12	2000	657	85.4
H.13	2001	645	83.9

堆砂容量(千㎡) 769



くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15 70 くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

求麻郷土研究会の会誌「郷土」37号 (2018年12月発行)

あさぎり町岡麓の相良清兵衛隠居所の復原 (<u>L</u>)

北川賢次郎

はじめに

良氏滅亡を防いだ重臣であった。 西軍方から徳川家康の東軍方に寝返りを導いた功労者 相良清兵衛は、 いわば相良家が家康から所領安堵を取り付け、 関ヶ原の戦いで、相良氏を石田三成の

流された。 その評定の結果、 確執に及び、 躍するが、 その後、 政治的権勢が強くなり、 清兵衛は、 ついには藩主側が清兵衛を幕府に訴えた。 清兵衛は敗れて津軽(青森県) 人吉藩の執政 藩主相良頼寛との (家老)として活 の地に

こうしたいわくの持ち主であったがゆえ、 平成25年度人吉城歴史館特別展で 「波乱万丈ー 人吉城歷史

> 村謙介氏の解説執筆編集によって刊行された。 図録が人吉市教育委員会歴史遺産課の鶴島俊彦氏、 相良清兵衛伝」を開催した。そして、 同タイトルの \equiv

ることを問いかけている貴重な図録である。 この図録は相良清兵衛に関する史料を多く所収されて 清兵衛の歴史の真実について公平な視点で判断す

屋敷、 現在の地図上で岡麓の相良清兵衛屋敷の復原がなされて た絵図が所収されており、 いないのが現状である。 上記の図録中で、相良清兵衛晩年時に隠居所を構え 町屋敷等の地割は復元可能とされているが、 その隠居所や侍屋敷、 未だ 庄屋

目的

り、また、ボランティア団体のあさぎり町ふるさと案内 る町内である。長年、 案内することはあったが、 良清兵衛屋敷跡、 **八協会にも所属している。それらの立場から、当地の相** 当地は、あさぎり町岡原南に位置し、筆者が居住す 侍屋敷跡、 当管内の文化財保護行政に携わ 正確さを欠いた案内をしてき 町屋敷跡等の位置について

そして、 たいと思い執筆した次 第である。 として活用していただき 員や遺跡愛好者の資料 して示すことにしたい。 確な位置を地図上復原 回これらの資料を基に正 同志の協会会



相良清兵衛屋敷跡(南西側隅 岡麓公民館前)

参考資料

二絵図 良清兵衛伝』 『平成25年度人吉城歴史館特別展 人吉市教育委員会 二〇一三年 所収の 波乱万丈! 相

- (1)『相良清兵衛所領絵図』 図書館蔵) 相良文書(熊本県立
- 『岡本城絵図』 相良文書(熊本県立図書館蔵)

Ξ 復原の手法

たといえる。

そこで、

割り状況を検討する。 させて復元を試みる。 上記図録所収の二つの絵図を基に、 次にその結果を現在の地形に照合 相互に比較し、

絵図の検討

(1) 『相良清兵衛所領絵図』

この絵図は、 藩主側が幕府に評定のために用意した絵

前号【くまがわ学習塾②の答え】

問1 球磨地方の自治体名をあげよ (例:人吉市)

- ① (球磨村)
- ②(山江村)
- ③ (あさぎり町)
- ④(錦町)
- ⑤ (湯前町)
- ⑥ (五木村)
- ⑦(水上村)
- ⑧(多良木町)
- 9 (相良村)

問2 くま川鉄道の駅名をあげよ(例:人吉温泉駅)

- ① (相良藩願成寺駅)
- ②(川村駅)
- ③ (肥後西村駅)
- ④ (一武駅
- ⑤ (木上駅)
- ⑥ (おかどめ幸福駅)
- ⑦(あさぎり駅)
- 東免田駅)
- ⑨ (公立病院前駅)
- ⑩(多良木駅)

問3 次の文章は正しいか、〇と×で答えよ(例:日本製紙八代工場がある〇)

- ① 豊臣秀吉は八代に来たことがある 〇
- ② 田村花袋の父の墓は八代にある 〇
- ③ 塩屋町は明治時代にできた ×
- ④ 写真家・麦島勝は八代の出身である ○
- ⑤ 八代の特産物はデコポンである ×
- ⑥ 八代市の市議会は女性議員が多いことで有名である ×
- ⑦ 江戸時代、一国一城令により八代市には城はなかった ×
- ⑧ 高田蜜柑は晩白柚のことである ×
- ⑨ 八代市のい草の生産量は岡山県岡山市についで全国 2 位である ×
- ⑩ 八代市内には日本競馬協会の馬券売り場がある 〇

問4 現役の女性作家の名前を10人あげよ (例:畠山恵)

- ① (三浦しおん)
- ②(有川浩)
- ③ (江國香織)
- ④ (宮部みゆき)
- ⑤ (小野不由美 ⑥ (吉本ばなな
- ⑦ (梨木香歩
- ⑧ (林 真理子
- ⑨ (西加奈子
- (10) (辻村深月



相良清兵衛所領絵図 相良文書 (熊本県立図書館蔵)

は

清兵衛屋敷

路で囲 ら分水 二重の狭い線を いるとみら まれて でした水 を記している点 木上の知行地 の上村、一武、 ともに清兵衛 す絵図であると 屋の状況を示

前記の清兵衛屋敷から道を隔てた向か

また、

岡本城の三の丸下段にも五区の

そのうち侍屋敷が三もしくは四区に連な

譲るとするが、 図とみられている。

その要点は、

岡本城と清兵衛屋敷、

絵図の解説については、

図録解説に

描き、

中を塗りつぶしている。

の屋敷に区切られ、清兵衛屋敷・屋敷と記述されている。

ところは屋敷の門と思われる。

なお、

清兵衛屋敷は二区

である。

とする。 地割を見ていく 次に詳細 に るものとみられる。 地割りがあり、 兵衛屋敷内に置かれた侍屋敷がある。 清兵衛屋敷の北側は空白地になっている。 りには、清兵衛屋敷から流れる水路が道の北側に寄って に侍屋敷がある。 侍屋敷の道向かいは「蔵」と記されている。 侍屋敷は、 町屋は、

通っている。

東西に延びる通りを挟んで並び立ち、

その通

側に大きく張り出して侍屋敷の中央まで達する構図であ 岡本城については、 さらに二の丸、 本丸と南に狭まりながら描かれてい 「置本城」と記され、 三の丸は西

(次号につづく)

【きたがわ・けんじろう)

/球磨郡あさぎり町】

南東側には清

南北の通りに少し凹んだ

くまがわ学習塾 28

問	1	漢字	「威」	を使う熟	語を書け	(例:)	威厳)				
	1	()							
	2	()							
	3	()							
	4	()							
	(5)	()							
問			紙幣(こ登場する、	あるいは、	登場した	たことの	ある人物	を書け	(例:聖徳太	:子)
	1)							
	2	()							
	3	()							
	4	()							
	(5)	()							
	6	()							
	7	()							
	8	()							
	9	()							
	10	()							
問			29 年	発行の『八	代年鑑』に	こ登場で	する人物	加名を書	計け(例:櫻井三	郎)
	1	•)							
	2	-)							
	3	•)							
	4	-)							
	(5)	()							
	_	1. I — a	~ = ¬ _\				(m)	MANIT	åp. 1 →	57le 1e	\sim
问								渋沢一	郎は子	爵であった。	\bigcirc)
				日本製紙の			である				
				フランスに			ヒフ				
				は黄熱病の			める				
				、終生、			ナフ				
				は熊本県		出身では	める				
	(6)	渋沢-	一郎に	は婚外子だ	がいた						

- ⑦ 北里柴三郎は東京医学校(現在の東京大学医学部)に進学したが、な んども留年した
- ⑧ 津田梅子の墓所は津田塾大学の構内にある
- ⑨ 渋沢一郎は『万葉集と算盤』で有名である
- ⑩ 渋沢一郎、津田梅子、北里柴三郎は、3人とも明治維新前に生まれ昭 和まで生きた

次の駅名を平仮名で書け 例:那良口駅(ならぐちえき)

① 葉木駅()
② 瀬戸石駅()
③ 白石駅()
④ 木上駅()
5)東免田駅()

※答え合わせは次号でおこないます。前回の答え合わせは75頁で。

亡き母が生きよ生きよと背を押しぬ桜は今や咲き満ちており 卒園 ハイヒー 人やモ 沖縄の民意歴然新基地ノ カメジロウの不屈の心連綿と元山仁士郎まばゆか 春待ちて竹の葉ひらり右左 ハンストが全県投票可能にしアべの企み粉砕したり べ なるが口にするほど軽くなることばの重み「真摯」「寄り添う」 の竹の林にうぐい 0 ノに頼らず歩く日を夢み我に鞭打ちリハビリ励む 子らに次々ハグされて一歳も仲間の縦割り ル履きたる昔の写真見てしみじみ想うあの日あの時 すの 初鳴き聞きて心浮き立 扇のごとく舞いつつ散りぬ こぞり応えん本土の我らも いもご短歌会 ~りけり クラス 坂本 上田 柳原 宮川しのぶ 上田 廸子 ケイ 三男 精

77 くまがわ春秋 Vol.37 2019.4.15

読書/

开県の歴史』を読

ために『福井県の歴史』(山川出版社) を再読した。 天皇制・幕末・横井小楠を考える

(1) 継体天皇

皇の出身地を、多くの学説のいう「近 第26代天皇である。 同書は、 同天



する。 世一系」を否定し、同一の王朝が神武 宣伝が下手なようであるが、もっと強 「このことはあまり広く知られていな 井県は現王室の始祖の本拠地」とし、 江」 でなく 「越前」 としたうえで、「福 天皇にはじまり現在にいたるまで継続 用していることになる。その見解は「万 国史観から解放されることになった。 この見解の登場によって、 日本史は皇 く訴えてもよいことのように思う」と しているとする皇国史観を拒否する。 この見解の細部は同一ではない。 いわゆる「王朝交替説」を採 歴史的事実である。 福井県は

> はない。 の子孫と万世一系論は説明する。 皇を現天皇の始祖とみていいか。 を考えるうえで参考になる。 継体天皇の出身地を越前に求めてい いかという問題はあるにせよ、 る。「王朝」という言葉を使用してい 統王朝の順で王朝は変遷したと理解 かし大まかには、 し5世代離れればもはや、 くとも、そうみることは不自然ではな いか、崇神天皇を「初代」とみていいか、 →②応神天皇系統王朝→継体天皇系 継体天皇は応神天皇の5世代後 神武天皇などを架空であるとす 崇神天皇系統王朝 「一系」で 継体天 古代史 少な

(2) 幕末・維新

「幕末」

もある。 当時の福井県は人材に恵まれていたと も評価していない。 とによる。そのためか、松平春嶽を 被害者(春嶽や左内など)がいたこ 安政の大獄の遂行者(詮勝など)と 件についての記述は微妙。福井県には、 時の老中。そのことを考慮してか同事 は「安政の大獄」に起因するが、 活躍も同事件から開始する。 府の権威が劇的に低下した。 を得ないともいえる。 るから、小楠に頁を割けないのはやむ ちろん同書は福井県史の概説書であ については一行も割いていていない。 高く評価せず、 井県は越前福井藩だけでなく鯖江藩 中根雪江、 由利公正などの名をあげたうえ 鯖江藩の間部詮勝は事件当 したがって、横井小楠 鈴木主税、 評価以前に、小楠 同時に同書は、 浅井八百 同事件 ŧ

> ではないと思いつつ、 ういう見方も不可能 で福井県が排除され スをたどったとし、 収斂していくプロセ 長」へと権力構造は 長土福」から「薩長 そうであれば、横井 ていったとする。 そのプロセスのなか 土肥」に、そして「薩 で、明治維新を、「薩 そ

> > ず

さあ、巡礼の旅に出よう

部明廣「明治維新150年」本誌35 物にほかならない。 号30頁以下参照)。 人々の結節点にいた肥後を超えた人 大獄から維新にかけて上記で触れた 小楠に触れてよかった。 彼と小楠の関係については、岐 (由利公正と明治 小楠は安政の

相良三十三観音と人吉球磨の 「日本遺産」を熱く語った しりと重いガイドブック 他の /上製/400頁 **■定価 2,100 円 (税込)** 送料 200 円 『県史』、 は上記問題を 〒868-0015 熊本県人吉市下城本町 1436-4 の 3 号 TEL・FAX0966-23-3759 たと info@hitoyoshi.co.jp

1)三十三観音巡礼

どのようにあつかっているだろうか。 えば『青森県の歴史』 ズの一冊である。 時間に余裕があれば、 読してみよう。 『福井県の歴史』は山川・県史シリ 他の県史も再

少なくと、 はいつからはじまるのか。 「桜田門外の変」で江戸幕

編集後記

はどうであったろう。 大騒ぎしていたが、 改元に関する報道でメディアは 読者の皆さん 本誌に寄せ

祝いムードというより一層気を引き締め、 もらいたいと願う。 鉄道人気は相変わらずで、「令和」の時代もこれが続いて のような流れであった。 人吉駅で開かれた「観光列車サミッ 平成最後となると特別なのかと思いきや、 こちらもいつも スタ」(3頁)、「柴立姫神社例大祭」(8頁)がそれで、 ようなイベントで盛り上がった。巻頭特集の「菜の花フェ られた論考では務めて冷静に捉えているように映った(30 待に応えたいと思っている。 くださるよう、 in 32 頁 。 人吉球磨」(6頁)には5000人が集まったという。 ★

そんななか、 お願いする次第である。 ★本誌も創刊から3周年も迎え、 新年度も引き続きお付き合い 流域では春を待ちわびたかの (**\$** 読者の皆様の期

人吉中央出版社 熊本県人吉市下は 868 電話・ 0 一くまで ファ ッ クス が わ 4 春秋」 3 0 9 6 6 info@hitoyoshi.co.jp 編集部 4の3号

슾 長

社

インフォメ ション

4月21日 (日)

▽里宮神社春季例大祭 4月20日 (土) (湯前町 同神社)

4月26日 (金)

▽市町村長選挙ならびに市町村議会議員選挙・投開票

4月27日 (土) ▽豪華客船クイ ン・エリザベス初寄港 (八代港)

▽日本百名城人吉お城まつり 史の広場および九日町通り一 (28 □(帯 人吉城跡ふるさと歴

4月28日 (日)

▽第14回ゆのまえ潮おっぱい祭り えグリーンパレス芝生広場) (湯前町 潮神社・ ゆのま

しゃくなげ祭り(水上村 しゃくなげ公園)

▽連合熊本人吉球磨地域協議会 さくらド 第90回メー (球磨村渡

たけだ眼科クリ

デイサービスセンター ケアプラン作成所いずみ (居宅介護支援事業所)

院 長竹田 憲司 人吉市南泉田町39 ☎23-3096

めがね・コンタクトレンズの

(たけだ眼科ビル内) 20966-23-3097

協力医療機関 たけだ眼科クリニック

人吉市南泉田町70番地の3 ☎0966-28-3307

4月29日 (月) 昭和の日

5月1日 (水) 新天皇即位の日・新元号 「令和」施行・メ

5月5日 5月4日 5月3日 ₿ Ξ **金** 憲法記念日 子どもの日 みどりの日

月 振替休日

5 月 12 日 ₿

>剣豪丸目蔵 人顕彰 第50回少年剣道大会(錦町 勤労者体育



元

嘉

顕

田

田

釜

釜

長

メール info@marukama.co.jp